

2 0 2 2 年度

事業報告

社会福祉法人麦の子会

目 次

| | |
|--------------------|----|
| 目 次..... | 3 |
| 2022年度の主なトピック..... | 4 |
| I 法人運営..... | 5 |
| II 幼児部門..... | 9 |
| III 学童部門..... | 18 |
| IV 成人部門..... | 33 |
| V 家庭・くらし部門..... | 43 |
| VI クリニック..... | 58 |
| VI 地域連携..... | 62 |

2022年度の主なトピック

①スワンカフェ&ベーカリーが新たな建物で開店しました

2021年度の国庫補助金により建設した「スワンビル」1Fに、2022年9月スワンカフェ&ベーカリー・ハーベストガーデン店のメイン店舗を移転しました。旧ハーベストガーデン店は、生活介護事業所ハーベストガーデンの従たる事業所として、現在も並行して営業しています。「アトリエ・ワン」という設計事務所とご縁をいただき、店舗内の設計をしていただきました。麦の穂をモチーフにしたヘリンボーン柄のデザインや、麦の黄金色でキラキラとした雰囲気、座り心地のよいベンチなど、居心地のよい店舗となっています。子ども食堂として夕食も提供しています。

②一時保護専用施設ティンカーベルを開設しました

2022年5月から札幌市の一時保護専用施設としてティンカーベルを開設しました。5年近くに渡り、既設の2つの短期入所事業所（ショートステイホームむぎのこ・ショートステイホームピース）の空き室で一時保護の委託を受けてきました。札幌市でも児童相談所の一時保護所の受け入れ枠が足りない状況が続いています。麦の子会では長年の一時保護委託の実績と、発達に困り感のあるお子さんや要保護家庭という、子育てに困難性の高いお子さんやご家族を支援するという社会的使命から、一時保護所を開設しました。2022年度は、札幌市児童相談所の要請により札幌市の一時保護所において新型コロナに感染または濃厚接触した子どもを受け入れてきました。

③虐待防止のためのSNS相談事業を開始しました。

2023年2月から、虐待防止のためのSNS相談事業（親子のための相談LINE）を開始しています。この事業は、北海道からの委託事業（2023年度からは札幌市からも委託）で、全道からの親や子ども本人からの相談を、LINE回線を通じて専任相談員がお受けします。子育ての悩みや育児での負担感など、電話や面接をするにはためらいがある場合などでも、匿名のLINE相談があることで、気軽に相談できることが大きな特徴です。また、子どもも親に話せない悩みなど、「安全に話せる場所」として直接LINEを送ることが出来ます。LINEのみでは解決できない相談事もありますが、このLINE相談を通して、児童相談所や保健センターなどの専門機関に困り感を抱えている方を繋げていくことも、相談LINEの大切な役割と考えて活動しています。

④新人研修を充実させました。

初めての取組として、4月の入社式終了後から5月7日の約1ヶ月にわたり、新人研修を行いました。前半の2週間は座学中心で、福祉制度、麦の子会の事業や支援の核となる項目について、各担当職員が講師となりました。後半の2週間は実習中心で、麦の子会の殆どの事業所を体で体験できるような実習を行いました。子どもの夏のお泊まり会や、屋外キャンプ活動等で利用している当別の中小屋小学校で、リズム運動や掃除の仕方などを学びました。最終日の5月7日は、新人職員が5グループに分かれて、生活発表会で子ども達によく知られている劇を、むぎのこの子ども達の前で発表しました。研修終了後の各配属先でも、人財を大事に育てていこうという意識が高まりました。

⑤会計監査人を設置しました。

2022年度より会計監査人を設置しました。設置義務が制度化された当初、設置基準は収入が30億円以上で、以降順次拡大していくとの方針で、2019年度からは収入が20億を超える場合に基準が拡大される予定でした。そのため、麦の子会でも2017年度から予備調査を開始し2019年度設置の準備をしていました。その後、設置基準の拡大が見送られ、現在でも30億超が基準ではありますが、2021年度の収入が25億を超え、法人の規模も拡大しているため会計の安全性を考慮し設置することとしました。会計監査人は「養和監査法人」に2017年より予備調査を含めてご指導をいただいています。今年度からは会計監査人として制度に則った決算の監査をしていただいています。非常にタイトなスケジュールの中、懇切丁寧に対応いただいています。

I 法人運営

1. 理事会・評議員会の開催及び監事監査の実施

(1) 役員構成

- ①理事：北川聡子（理事長） 古家好恵（常務理事） 山崎千恵美 高本美明 木村瑞穂 高田隆一
- ②監事：末永仁宏 向谷地生良
- ③評議員：遠藤光博 尾崎祐一 金田光夫 田澤泰明 中原明 藤井康弘 米山明

(2) 評議員会の開催

定時評議員会（2022年6月25日（土））

ア. 報告事項

- (1) 2021年度事業報告

イ. 審議事項

- (1) 監事監査報告の件
- (2) 2021年度決算承認の件
- (3) 会計監査人設置と契約の件
- (4) 定款変更の件

第2回評議員会（書面決議）（2023年1月5日付）

ア. 決議事項

- (1) 議事録署名人について
- (2) 定款変更（修正）の件

(3) 理事会の開催

第1回理事会〈定例1〉（2022年6月8日（水））

ア. 報告事項

- (1) 理事長及び業務執行理事の職務執行状況について
- (2) 人事報告

イ. 審議事項

- (1) 前回議事録承認の件
- (2) 2021年度事業報告の件
- (3) 2021年度決算報告の件
- (4) 監事監査報告の件
- (5) 定時評議員会日程の件
- (6) 定時評議員会議案の件
- (7) 会計監査人設置の件
- (8) 人事労務システム導入の件
- (9) 一般社団法人共生社会プラットフォーム事務局設置の件
- (10) 定款変更の件
- (11) 経理規程改定の件
- (12) ソーシャルメディア等利用管理規程制定の件
- (13) 職場におけるハラスメント防止に関する規程制定の件
- (14) ジャンプレッツ（就労移行支援）工賃適正額検討の件
- (15) 今年度理事会日程の件

第2回理事会〈定例2〉（2022年9月3日（土））

ア. 報告事項

- (1) 理事長及び業務執行理事の職務執行状況について
- (2) 人事報告
- (3) 会計報告
- (4) 監事監査報告

イ. 審議事項

- (1) 前回議事録承認の件
- (2) 札幌市指定管理における聴聞規則制定の件
- (3) パートタイム職員就業規則及び給与規程一部改定の件
- (4) グループホーム利用者食費改定の件
- (5) 次回理事会日程の件

第3回理事会〈定例3〉(書面決議)(2022年11月30日(水))

ア. 報告事項

- (1) 理事長及び業務執行理事の職務執行状況について
- (2) 人事報告
- (3) 会計報告
- (4) 監事監査報告

イ. 審議事項

- (1) 前回議事録承認の件
- (2) 2022年度第一次補正予算案の件
- (3) グループホーム等事業用建物の建設のための補助金協議登録の件
- (4) グループホーム等事業のための土地購入の件
- (5) 就学及び資格取得費用貸付規定制定の件
- (6) 資格取得費用貸付の件
- (7) 給与規程一部改定の件
- (8) 経理規程文言修正の件
- (9) 次回理事会日程の件

第4回理事会〈臨時1〉(2022年12月19日(月))

ア. 審議事項

- (1) 定款の条文追加の件
- (2) 評議員による書面決議実施の件
- (3) 備品等購入積立資産及び設備等整備積立資産取崩の件

第5回理事会〈臨時2〉(書面決議)(2023年1月21日(土))

ア. 審議事項

- (1) グループホーム新築整備補助事業申請の件

第6回理事会〈定例4〉(2023年2月10日(金))

ア. 報告事項

- (1) 理事長及び業務執行理事の職務遂行状況について
- (2) 人事報告
- (3) 会計報告
- (4) 監事監査報告

イ. 審議事項

- (1) 前回議事録承認の件
- (2) SNS相談事業開設の件
- (3) 全事業所運営規程一部改正の件
- (4) 旅費規程一部改定の件
- (5) 国庫補助申請建物の3階事業種別変更の件
- (6) 次回理事会日程の件

第7回理事会〈定例5〉(2023年3月17日(金))

ア. 審議事項

- (1) 前回議事録承認の件
- (2) 2022年度第二次補正予算の件
- (3) 2023年度事業計画の件
- (4) 2023年度予算案の件

- (5) 諸規程改定の件
- (6) 備品等購入積立資産取崩の件
- (7) 職務専念義務免除の件
- (8) 当別町子ども発達支援センター見積合わせ応諾の件
- (9) 次回理事会日程の件

(4) 監査・指導の実施

| 実施者 | 監査実施日 | 監査項目 |
|----------------------------|---|--|
| 末永 仁宏監事 | ①2022年 6月 3日 ②2022年 8月 22日 ③2022年 11月 11日 ④2023年 2月 6日 | 法人定款第 18 条の規定に基づき、2022 年度事業に係る理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況。 |
| 向谷地生良監事 | ①2022年 6月 3日 ②2022年 8月 31日 ③2022年 11月 24日 ④2023年 2月 7日 | 法人定款第 18 条の規定に基づき、2022 年度事業に係る理事の業務執行の状況。 |
| 札幌市 ・ 監査指導室 ・ 障がい福祉課 | 書面による監査 2022年 8月 22日書類提出 | 札幌市みかほ整肢園（医療型児童発達支援センター） （札幌市の指定管理） |
| 札幌市 ・ 監査指導室 ・ 障がい福祉課 | 2022年 10月 13日 | 法人本部 むぎのこ児童発達支援センター |
| 日本財団 | 2022年 11月 17日 | 妊娠 SOS 相談窓口の新設 妊娠 SOS 相談窓口及び宿泊施設の整備 親子のカウンセリング及び産前産後の母子支援施設の整備 |
| 札幌市児童相談所 | 2022年 11月 29日 | 全ファミリーホーム （ガブリエル ベーテル ミモザ グレープ） |
| 公益財団法人児童育成協会 | 2022年 7月 13日 | むぎのこ保育園（企業主導型保育園） |
| 札幌市子ども未来局 | 2023年 2月 7日 | むぎのこ保育園（企業主導型保育園） |

(5) 助成・補助金

| 受入事業所 | 交付団体等 | 助成・補助金内容 | 助成額 |
|--------------|-----------------------|------------------|--------------|
| 全事業所 | 札幌市 | 令和 4 年度処遇改善特例交付金 | 17,615,669 円 |
| 全事業所 | 札幌市 | 令和 4 年度物価高騰支援金 | 6,208,600 円 |
| 全事業所 | 札幌市 | コロナ関連補助金および支援金 | 4,229,595 円 |
| 全ファミリーホーム | 札幌市 | 児童養護施設等体制強化事業補助金 | 3,503,000 円 |
| ショートステイハーベスト | 札幌市 | 重心障害児等受入促進事業補助金 | 3,000,000 円 |
| 生活介護ジャンプ・レッツ | 札幌市 | 札幌市利息補助金 | 18,850 円 |
| 妊娠 SOS 事業 | 日本財団 | 妊娠 SOS 事業運営補助金 | 8,100,000 円 |
| 法人本部 | 独立法人高齢・障がい者・求職者雇用支援機構 | 障害者雇用調整金 | 5,534,000 円 |

(6) 主な施設・事業所整備事業

| 事業所名 | 工事名 | 請負業者 | 工事価格 |
|-----------|-----------------------|---|--------------|
| ハーベストガーデン | 麦の子会複合施設 A 1 階店舗内外装工事 | 岩田地崎建設㈱ アトリエ・ワン ㈱鷺尾ウッドワーク ㈱タクト 等 | 18,274,910 円 |

(7) 入札（一般・指名）執行状況

なし

2. 事業運営

(1) 第2種社会福祉事業

- 1) 障害児通所支援事業の経営
- 2) 障害福祉サービス事業の経営
- 3) 小規模住居型児童養育事業の経営
- 4) 移動支援事業の経営
- 5) 相談支援事業の経営

(2) 公益事業

- 1) 診療所の設置経営
- 2) 日中一時支援事業の設置運営
- 3) 札幌市障がい児等療育支援事業
- 4) 当別町こども発達支援センター専門職員指導業務
- 5) 当別町こども発達支援センター発達支援専門員派遣業務
- 6) 認可外保育園の設置経営
- 7) 西尾リプロセス心理臨床研究所の設置運営
- 8) 札幌市あかしあ学園の給食調理業務
- 9) 妊娠SOS相談事業
- 10) 札幌市障がい児フォスタリング事業
- 11) 一般社団法人共生社会プラットフォーム事務局の設置

II 幼児部門

むぎのこ児童発達支援センター（児童発達支援センター）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5月 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 東区 | 45 | 45 | 45 | 49 | 48 | 55 | 54 | 55 | 55 | 55 | 55 | 55 | 51.3 |
| 北区 | 22 | 23 | 23 | 23 | 24 | 22 | 26 | 27 | 27 | 27 | 27 | 28 | 24.9 |
| 西区 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 手稲区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 中央区 | 3 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3.25 |
| 千歳市 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 74 | 76 | 76 | 79 | 79 | 84 | 87 | 89 | 89 | 89 | 89 | 90 | 83.4 |

(2) 利用延べ人数

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|
| 合計 | 1089 | 1057 | 1308 | 1263 | 1121 | 1355 | 1298 | 1110 | 1301 | 1241 | 1095 | 1209 | 14,447 |

(単位 人)

2. 職員配置状況

(人)

| | | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|-------------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 管理者 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 児童発達支援管理責任者 | 常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 児童指導員 | 常勤 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| 保育士 | 常勤 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 指導員 | 常勤 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 栄養士 | 常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 児童指導員 | 非常勤 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 |
| 保育士 | 非常勤 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 |
| 指導員 | 非常勤 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 |
| 調理員 | 非常勤 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| その他 | 非常勤 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 合計 | | 83 | 83 | 83 | 84 | 84 | 84 | 83 | 83 | 83 | 83 | 83 | 83 |

2. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・年2回作成、前期後期それぞれ評価、面接し、同意を頂いた。
- ・計画に基づいた療育、保護者に子育てへのアドバイスを行うことが出来た。
- ・子どもの発達に合わせた目標を設定し、支援する事を心掛けた。
- ・保護者の意向、子どもの能力に合わせたアセスメントを行ない、作成する事が出来た。

(2) 主な日中活動

- ・基本 朝の会、リズム、手遊び、わらべ歌、絵本読み聞かせ、公園遊び（遊具設定遊び、水遊び、鬼ごっこ、探索散歩、そり遊び）
- ・室内遊び（サーキット、音楽遊び、ストップゲーム、平均台、トンネル、バルーン）
- ・園庭（水遊び、泥んこ遊び、プール遊び、そり遊び、シート滑り）
- ・親子遊び（とっちゃんかっちゃん ギッタンパッコン、たけこがはえた、バス遊び でこちゃんはなちゃん、ふくすけさん、ぞうきん、にほんばし、うめとさくら、おじいさん おばあさん、おすわりやす等）

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

| | |
|-----|--|
| 4月 | 始業式 避難訓練 |
| 5月 | 父親参観週間、お誕生会、避難訓練 園医健診 |
| 6月 | 美香保遠足、さとらんど遠足、お誕生会、総合避難訓練 |
| 7月 | 避難訓練、お泊まり会、海水浴、お誕生会 |
| 8月 | I期終業式、II期始業式、避難訓練、お誕生会 |
| 9月 | 運動会、避難訓練、お誕生会 |
| 10月 | 避難訓練、三角山登山、お誕生会 |
| 11月 | 生活発表会総練習、避難訓練、お誕生会、園医健診 |
| 12月 | 生活発表会 大避難訓練、コンサドーレ来園、クリスマス会、もちつき、お誕生会、II期終業式 |
| 1月 | III期始業式、お正月会、避難訓練、父親参観週間、お誕生会 |
| 2月 | 豆まき、お誕生会、避難訓練 |
| 3月 | ひなまつり、卒園感謝会、避難訓練、修了式・離任式、お誕生会 |

4. 施設設備管理業務

・火災報知器、消火器の点検(法定点検年2回)

5. 防災対策

| 実施年月日 | 実施訓練内容 | 実施年月日 | 実施訓練内容 |
|---------|----------------------------|----------|----------------------------|
| R4・422・ | 避難・消火・通報・救出・その他 | R4・10・21 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| R4・5・20 | 避難・消火・通報・救出・その他 | R4・11・18 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| R4・6・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 | R4・12・16 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| R4・7・22 | 避難・消火・通報・救出・その他 | R5・1・20 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| R4・8・19 | 避難・消火・通報・救出・その他 | R5・2・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| R4・9・16 | 避難・消火・通報・救出・その他 | R5・3・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 |

(1)防火管理者の状況

| | | | | | |
|----|--------|----|------|---------|------------|
| 職名 | 理事長・園長 | 氏名 | 北川聡子 | 選任届出年月日 | 2015年4月17日 |
|----|--------|----|------|---------|------------|

(2)非常災害に対する訓練の状況

6. 諸会議の開催

| 会議名 | 定例開催日 | 開催回数 | | 参加職種 | 参加人数 | 参考事項 |
|---------------|-------|------|----|-------------------------------|------|----------------|
| | | 定例 | 臨時 | | | |
| 職員会議 | 毎月1回 | 12回 | | 管理者・児童発達支援 管理者・保育士・児童指導員 | 18名 | |
| クラス会議 | 週1回 | 168回 | | 管理者・児童発達支援 管理責任者・保育士・児童指導員 | 15名 | クラスごとに開催(3~4名) |
| ケースカンファレンス会議 | 必要時 | 回 | | 管理者・児童発達支援 管理責任者・保育士・児童指導員 | 15名 | クラスごとに開催(3~4名) |
| 個別支援計画会議 | 前期 後期 | 2回 | | 管理者・児童発達支援 管理責任者・保育士・児童指導員 | 15名 | 各お子さんに対し年2回実施 |
| 児童発達支援管理責任者会議 | 月1回 | 12回 | | 児童発達支援管理責任者 | 1名 | |

7. 苦情内容及び結果の公表

| 月日 | 主な苦情内容 | 対応及び解決方法 |
|----|--------|----------|
| | | |
| | | |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・前年度に引き続き、コロナ禍に配慮し、感染防止対策をしながら保育を行なう事が出来た。手洗い、消毒、換気、マスク着用を徹底した。感染者が出た時には、電話掛けをして毎日の様子を聴く等、家族が孤立しないよう配慮した。感染拡大の場面では、休園して消毒作業や、子どもの状態の把握に努めた。また、休園の際でも家庭で過ごす事が大変な家庭には短時間の保育を行なう等、配慮して対応できた。
- ・発達支援の質を高められるよう、様々な研修に参加した（さくらさくらんぼリズム、エピソード、アセスメント、かくだつりモート研修、愛着障害コンサルテーション、モンテッソーリ教育、発達等基礎研修、年代別研修等を実施）。
- ・新人研修を1ヶ月実施。実践や知識に繋がる内容を盛り込んで、行なう事が出来た。
- ・親子発達支援や事業所内相談支援を通じて、家族の困り感や子どもの発達段階の把握に努め、より家族に寄り添った支援が出来るよう努めた。
- ・1、2歳のお子さんが7月頃から増えていき、登園曜日を家族に提案しながらの受け入れとなってしまう。
- ・引越しや転勤等の事情とは別に、支援内容を踏まえて地域のデイサービスに移行したお子さんが2名いた。ご家族のニーズに合わせた支援の提供をより考えていく必要がある。

〔展望〕

- ・2023年度は、5月コロナウイルス感染症が5類の扱いになる事を受けて、行事の体制等をコロナ禍前に戻せるかどうかを検討して、実施していく（遠足等）。しかし、感染対策はコロナウイルスのみでなく、他感染症にも有効であるため、感染対策を引き続き行ないながら、安全な園生活を送る事が出来るよう努めていく。
- ・研修の実施は引き続き充実させていく。オンライン参加のみでなく、研修会場での参加も考えていく。
- ・親子発達支援や事業所内相談の機会を持ち、積極的にご家族の困り感や、支援ニーズを把握する。その際にも、優しく寄り添った会話が出来るよう職員全体で心掛ける。
- ・通園している子ども・家族のニーズに丁寧に応じていき、他事業所への移行にならないよう配慮していく。
- ・個別支援計画作成時だけでなく、各クラスお子さんの発達状況を理解し、ご家族と共通認識を持つ。また、その中で職員の関わりを含めた課題を明確にし、適切な支援を行なえるよう職員育成に努める。

保育所等訪問支援

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数(新規:1)

〈新規〉

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|------|----|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|---|
| 東区 | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 計 | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |

〈延べ〉

(単位 人)

| 区市町村 | 延べ | (新規) |
|------|----|------|
| 東区 | 19 | (1) |
| 北区 | 3 | |
| 中央区 | 1 | |
| 計 | 23 | (1) |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| 月 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|---|----|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|---|
| 計 | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |

2. 支援業務

(1) 訪問支援計画(個別支援計画)の策定

- ・利用ニーズを把握し、アセスメントを実施し、調整会議を経て計画書を作成した。

(2) 主な活動

- ・障がい児に対する支援（直接支援：集団生活に適應するための専門支援）を実施した。
- ・訪問先施設の職員に対する支援（間接支援：支援方法等の支援）を実施した。

3. 職員配置状況

(人)

| | | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|-------------|-----|----|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|
| 管理者 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 児童発達支援管理責任者 | 常 勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 事務 | 常 勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 訪問支援員 | 常 勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 指導員 | 常 勤 | | | | | | | | | | | | |
| 保育士 | 常 勤 | | | | | | | | | | | | |
| 保育士 | 非常勤 | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |

5. 評価と展望

- ・訪問支援のニーズを把握し、アセスメントに基づき、訪問支援を実施した。
- ・ニーズに応じた、支援量の確保が困難。
- ・学校への保育所等訪問支援を実施した。
- ・コロナ感染拡大予防の対応とし、訪問数を抑制した。

児童デイサービスむぎのこ（児童発達支援事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 東区 | 10 | 10 | 12 | 12 | 12 | 14 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 11 |
| 北区 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 |
| 計 | 12 | 12 | 15 | 15 | 15 | 17 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 12 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 192 | 218 | 278 | 264 | 246 | 298 | 278 | 282 | 277 | 280 | 257 | 275 | 3145 |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・事業所経営：4月当初は利用人数が少なかったが、6月以降随時入園児を受け入れ、安定した利用人数で、運営する事が出来た。
- ・子ども1人1人を療育の中でしっかりアセスメントして、問題行動の裏に在るものを検討しながら必要な支援や関わりを行なう事が出来た。
- ・職員がCSPに取り組む事は勿論、家族支援の中でもCSPを共有し、般化する事で子どもとの肯定的な関わりを心掛ける事が出来た。
- ・緊急性の高い家庭への家庭訪問や、泊りの対応、相談室に繋げるなど臨機応変に行なう事ができた。

〔展望〕

- ・家族支援では、家族の背景を理解した中で対策を考え、ニーズにあった支援を継続して行なっていく。また、こまめに情報共有を行い、職員、パートの連携を大切にする。
- ・職員同士声を掛け合い、目と目、言葉と言葉、心と心を大切に連携してチームで子どもの支援に取り組む。
- ・必要な支援を実際に受けられるまでに間があいてしまわないようにスピーディに対応していく。

プレイ（児童発達支援事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|
| 東区 | 9 | 10 | 10 | 10 | 11 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 11.16 |
| 北区 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | 3.66 |
| 白石区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 中央区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 手稲区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 措置 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 計 | 12 | 13 | 13 | 13 | 15 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 15 | 15 | 14.66 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 187 | 227 | 259 | 229 | 214 | 262 | 244 | 240 | 249 | 233 | 184 | 229 | 2757 |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・4月から～6月までは土曜日開所をしていたが、7月からは土曜は開所を止め、月曜日～金曜日までの開所になった。
- ・11月にはたくさんの職員、子供がコロナに感染した為、休園した。経営面では例外的な報酬算定で対応していった。
- ・家族支援が必要な家庭に対して、関係機関と連携しながら家族支援を行うことができた。1名を一時保護をし、安全を守っていった。
- ・療育の中や、保護者との面談で子どもや家庭をアセスメントして、職員間で関わり方を統一して支援することができた。
- ・虐待防止の練習を毎週1回行い、実際の場面では職員が交代し子どもの安全を守っていった。

〔展望〕

- ・困り感のある家庭が今後も多く通園する事が予測されるので、家族の背景を理解した中で対策 を考え、ニーズにあった支援を継続して行なっていく。また、こまめに情報共有を行い、職員、パートの連携を大切にする。
- ・職員同士声を掛け合い、目と目、言葉と言葉、心と心を大切に連携してチームで子どもの支援に取り組む。
- ・職員が研修に積極的に参加し、様々な学びを深めて支援に活かしていく。
- ・引き続き、イライラした時にはすぐに交代するようにし、虐待を防止していく。

セーボネス（児童発達支援事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 東区 | 6 | 7 | 10 | 10 | 11 | 10 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 10.5 |
| 北区 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | 5 | 5 | 5 | 5.3 |
| 西区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1.7 |
| 中央区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.7 |
| 江別市 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 計 | 13 | 14 | 17 | 17 | 20 | 20 | 22 | 22 | 22 | 21 | 21 | 21 | 19.2 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 83 | 111 | 157 | 202 | 157 | 189 | 209 | 181 | 200 | 196 | 197 | 213 | 2095 |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・運営面→幼稚園登園後の利用児童グループと難聴児支援グループを新規に行い、前半は特に利用人数が少なかった。夏頃から徐々に人数が増えて安定してきた。
- ・子ども一人一人に合わせてアセスメントをし、療育することが出来た。
- ・家族支援では、お母さんの背景や生い立ちを面談で聞き取り、支援につなげるよう努めた。
- ・幼稚園の送迎対応や行事見学などを行ない、幼稚園との連携に努めた。

- ・コロナや疑いのある症状で欠席した家庭には例外的な報酬算定で対応した。

〔展望〕

- ・幼稚園との連携を継続して行っていく。
- ・難聴児支援の専門性と質の向上を図る。
- ・発達支援で大事にしている CSP を用いた関わりを行い、一人一人を肯定的に受け止め、安心できる関係性の中から活動や友だち関係での挑戦をしていく。
- ・毎月、毎日の書類はクラス職員で確認し、確実に進めて行くよう連携していく。

ライラック（児童発達支援事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 東区 | 13 | 13 | 16 | 16 | 17 | 19 | 19 | 19 | 19 | 18 | 18 | 18 | 17.3 |
| 北区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 計 | 14 | 14 | 17 | 17 | 18 | 20 | 20 | 20 | 20 | 19 | 19 | 19 | 18 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 179 | 195 | 221 | 215 | 217 | 255 | 233 | 249 | 261 | 226 | 209 | 238 | 2698 |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・4月当初は利用人数が少なかったが、少しずつ利用人数が安定してきた。
- ・子どもと家族をアセスメントし、必要な支援に繋げることが出来た。
- ・保護者向けのCSPの講座を行った。クラスでも職員がCSPの効果的な褒め方を意識することで、母子通園の際に、子どもに対してどのように子どもに関わっていいか困っている親子に対して、職員がモデルになるように努めた。
- ・必要に応じて朝の会のグループ分けを行い、個別対応を行った。
- ・相談室、個別カウンセリングが必要な保護者に対しては、必要に応じて繋げた。
- ・クリニックの定期受診を勧めた。

〔展望〕

- ・支援が必要な家族に対して、より一層チームで支援が出来る様に務める。ヘルパー、ショートステイ、きょうだい児クラスなどとも連携する。
- ・次年度は年中クラスになるので、自己主張は受け止めながら、大人と一緒になら挑戦してみよう、と感じることが出来るような関わりを大事にしていく。
- ・個別支援、集団療育を意識して併用していく。
- ・目と目、言葉と言葉、心と心で連携し、職員同士がコミュニケーションをとりながら、子ども、保護者が安心できる環境の中で療育、家族支援を行う。

シーランチ（児童発達支援事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 東区 | 9 | 10 | 10 | 10 | 11 | 12 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 11.6 |
| 北区 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 計 | 12 | 13 | 13 | 13 | 14 | 15 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 13.5 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 人数 | 180 | 187 | 207 | 233 | 221 | 243 | 237 | 227 | 247 | 224 | 191 | 232 | 2629 |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・事業所運営：7月8月で新入園児も増え、安定した利用人数で事業所運営ができた。
- ・コロナウイルスの感染等もあったが、例外的な報酬算定を行い、安定した運営を保つことができた。
- ・発達支援：SCALEや褒める関わりを意識し、日々の活動や年長活動から、子どもたちの自己肯定感や自信に繋げ、仲間意識や相手を思いやる気持ちを育んだ。
- ・クラス会議などで、子どもや保護者の様子を共有したり、子どもの想いや自分の気持ちを振り返る機会となり、支援に繋がっていった。
- ・家族支援：事業所内相談支援の実施や電話で連絡をとり、家族の困り感を聞き取り支援に繋がった。就学への不安にも寄り添って、サポートしていった。家族支援が必要な家庭も多かったが、きょうだい児の事業所の担任や、相談室と連携して必要な支援に繋げることができた。

〔展望〕

- ・困り感のある家庭が今後も多く通園する事が予測されるので、家族の背景を理解した中で対策 を考え、必要があれば相談室や関係機関に繋げてニーズにあった支援を継続して行なっていく。また、こまめに情報共有を行い、職員、パートの連携を大切にする。
- ・職員同士声を掛け合い、目と目心と心を大切に連携してチームで子どもの支援に取り組む。
- ・職員が研修に積極的に参加し、様々な学びを深めて支援に活かしていく。
- ・年長児が中心になる事業所になる。就学等で不安になる保護者も多いので、保護者の声を聴きながら、子どもにとってどの選択をすることがいいのかを面談を重ねて保護者と一緒に考えていく。

ヨシア（児童発達支援事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 東区 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 9 | 9 | 10 | 10 | 11 | 11 | 9 |
| 北区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 中央区 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1.5 |
| 西区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 計 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 12.5 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 199 | 210 | 239 | 238 | 191 | 216 | 202 | 200 | 215 | 201 | 182 | 223 | 2516 |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・事業所経営：契約人数が少ない中で、毎日登園できるように声をかけたり、事業所内相談支援面接等の加算を算定するなど経営努力を行った。
- ・子ども1人1人の育ちの背景を汲み取り、スペシャルニーズのあるお子さんは個別に関わるなど配慮をしながら療育を行った。
- ・家族支援として、グループカウンセリングへの参加に繋がったり、ニーズのある保護者は個別カウンセリングにつながった。また、大変な家庭にはかけつける支援を行った。一時保護1名。
- ・就学に向けて、不安を聞き、一緒に教育相談に行くなど支援を行った。

〔展望〕

- ・スペシャルニーズのあるお子さんが多いクラスだった為、放課後等デイサービスに移行後も手厚い継続した支援を行う為に、引継ぎをしっかりと行い、今後もサポートしていく必要がある。
- ・引き続き子どもの安全を一番に職員同士が目と目、言葉と言葉、心と心で連携していく。
- ・職員が研修に参加して、知識や専門性を高めて、より良い療育を提供していけるように心がける。

ライオン（児童発達支援事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 東区 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 15 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 11 |
| 北区 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | 3 |
| 白石区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 措置 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 計 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 20 | 20 | 20 | 20 | 19 | 19 | 19 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 205 | 193 | 227 | 211 | 199 | 254 | 241 | 221 | 249 | 229 | 216 | 227 | 2672 |

8. 評価と展望

[評価]

- ・クラスの構造化を行い、見通しを持って過ごせるように環境を設定した。
- ・雑巾がけや給食配膳など、労働の活動を取り入れることで、褒められることへの期待感が見られたり、達成感をもつことができていた。
- ・集団活動の中でも、個別の関わりを大切に、大人との愛着関係・安心感を形成できるように肯定的に関わっていた。
- ・コロナが流行した時期もあったが、例外的報酬算定で電話がけを行い、安定した経営を行えた。

[展望]

- ・引き続き、構造化や職員連携し、安心して過ごせるクラスづくりを行う。
- ・事業所内相談支援や電話連絡で、保護者とのやりとりを行い、困り感をキャッチし解決に繋げていく。
- ・職員が研修に積極的に参加し、専門性を高めていく。

ライオン（重症心身障害児対応）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 東区 | 10 | 10 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 |
| 北区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 西区 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 措置 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 計 | 15 | 15 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 130 | 123 | 136 | 123 | 136 | 124 | 122 | 137 | 126 | 136 | 141 | 144 | 1578 |

8. 評価と展望

[評価]

- ・子どもたちを効果的に褒めていくことを繰り返し行うことによって子どもたちが自信を持ち自己主張をすることができるようになった子が多くなってきた。
- ・医療的ケアのある子どももいたが、安全に留意して行う事ができた。
- ・コロナ感染者が複数出て休園の対応で感染拡大を予防出来た。

[展望]

- ・安心、安全を心掛けて子どもらしい生活を保障する。
- ・保護者の話を聞いてきながら家族に必要な支援を行う。
- ・医療的ケアのある子どもに安全に対応する。

むぎのこ保育園（企業主導型保育園）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 東区 | 20 | 21 | 21 | 22 | 22 | 22 | 24 | 27 | 27 | 26 | 26 | 26 | 284 |
| 北区 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 60 |
| 西区 | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 3 |
| 白石区 | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| 中央区 | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 3 |
| 計 | 25 | 26 | 26 | 27 | 27 | 27 | 29 | 33 | 34 | 34 | 34 | 34 | 394 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 465 | 377 | 552 | 523 | 283 | 556 | 574 | 576 | 552 | 541 | 568 | 616 | 6561 |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・企業主導型保育事業として7年目を迎える。引き続き35名定員であったが、26名スタートだった。
- ・11月～1月の間に職員枠地域枠が増えて、3月までには34名の月契約を確保できている。常に一枠に一時利用の子どもが利用していた。
- ・コロナウィルスの蔓延により8月に5日間の休園や縮小開所になった。
- ・今年度は0歳児から5歳児までのクラス編成であり、各クラスとも事業クラスと交流をしたり、縦割りでの活動ができています。
- ・前年度引き続き日誌、日報の管理整備や健康診断、毎日の視診、毎日のクラスのねらいや評価などを行い日々の子どもたちの対応を行うことができた。
- ・安心・安全対策として日々の0,1歳児の5分ごとの睡眠チェック、2歳以上の10分ごとのチェックなどを行い、SIDの予防に努めることができた。人数確認や安全チェック表、送迎テック業務などを行った。
- ・それぞれの年齢に応じた園庭遊び、公園遊び、設定遊びなどを工夫し、基本のSCALEで子どもたちを肯定的に関わることができた。
- ・月一回の保護者とのグループカウンセリングを開催して保護者の困り感、兄弟児としての子どもへの対応などを伝えることが出来ている。
- ・保護者との個人面談も行っている。
- ・企業主導型保育施設長研修やキャリアアップ研修、救命救急講習などを積極的に受講し保育の質の向上や安全な保育体制がしっかり行えるようにした。

〔展望〕

- ・引き続き、グループカウンセリングで保護者とのコミュニケーションを取り兄弟児クラスとの連携を図り親子支援を行なっていく。さらに個人面談を計画に組み入れていく。
- ・乳児の受け入れが決まっているので、さらにSIDSの予防に努めていく。
- ・会議やS/Vを充実させて職員間の共通理解を図り保育の質の向上を図っていく。
- ・SCALEを大切に安全かつ安心の保育所運営をする。
- ・土曜日保育を行う。
- ・事業所の運営について連携を深めていく。加算についての勉強会を行い、加算についてもしっかりと認識していく。
- ・内部研修・外部研修を積極的に受けていく。

札幌市みかほ整肢園（医療型児童発達支援センター）〈指定管理〉

※ 書式が異なるため別紙参照

Ⅲ 学童部門

プレイ（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 東区 | 13 | 13 | ⑭ | ⑬ | 14 | 14 | 14 | 14 | 15 | 15 | 15 | 15 | 16.5 |
| 北区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 西区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 中央区 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.75 |
| 措置 | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | |
| 計 | 15 | 15 | 17 | 17 | 18 | 17 | 17 | 17 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18.5 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 人数 | 225 | 234 | 266 | 247 | 237 | 247 | 253 | 237 | 250 | 234 | 231 | 251 | 2,912 |

2. 職員配置状況

(人)

| | | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|-------------------------|-----|----|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|
| 管理者兼児童 発達支援管理 責任者 | 常 勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 児童指導員 | 常 勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 児童指導員 | 非常勤 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 保 育 士 | 常 勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 心理士 | 常 勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| その他 | 非常勤 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 合計 | | 8 | 8 | 8 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 |

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・年2回（4月・10月）個別支援計画を作成した。
- ・8月・2月にモニタリングを行った。
- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った。

(2) 主な日中活動

- ・ミーティング、学習（宿題・学びの時間）、スキル練習、公園遊び、帰りの会
- ・設定活動（大縄跳び、ティーボール、キャッチボール、サッカー、音楽遊び、鬼ごっこ等）
- ・制作、室内活動（ぬり絵、折り紙、制作、工作、スライム、プラ板、カードゲーム、ボードゲーム、ブロック遊び等）

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

| | |
|-----|-----------------------|
| 4月 | 入学式、1期始業式、カーペンター、避難訓練 |
| 5月 | 父親参観週間、避難訓練 |
| 6月 | 避難訓練 |
| 7月 | 1期終業式、夏休み活動、避難訓練 |
| 8月 | 2期始業式、夏休み活動、避難訓練 |
| 9月 | 避難訓練 |
| 10月 | 学童運動会、避難訓練 |
| 11月 | 避難訓練 |

| | |
|-----|-----------------------|
| 12月 | 2期終業式、冬休み活動、避難訓練 |
| 1月 | 3期始業式、冬休み活動、お正月会、避難訓練 |
| 2月 | 避難訓練、豆まき、父親参観週間 |
| 3月 | 卒業式、修了式、避難訓練 |

4. 施設設備管理業務

- ・消防設備点検を年2回行い、7月の結果報告を消防署に届けた。
- ・毎日、警備日誌をつけ、毎月、自主点検を行った。

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

| | | | | | |
|----|------|----|-------|---------|-----------|
| 職名 | 管理課長 | 氏名 | 古家 健司 | 選任届出年月日 | 2019年4月1日 |
|----|------|----|-------|---------|-----------|

(2)非常災害に対する訓練の状況

| 実施年月日 | 実施訓練内容 | 実施年月日 | 実施訓練内容 |
|-----------|----------------------------|------------|----------------------------|
| 2022・4・22 | 避難・消火・通報 救出・その他 | 2022・10・21 | 避難・消火・通報 救出・その他 |
| 2022・5・20 | 避難・消火・通報 救出・その他 | 2022・11・18 | 避難・消火・通報 救出・その他 |
| 2022・6・17 | 避難・消火・通報 救出・その他 | 2022・12・16 | 避難・消火・通報 救出・その他 |
| 2022・7・22 | 避難・消火・通報 救出・その他 | 2023・1・20 | 避難・消火・通報 救出・その他 |
| 2022・8・19 | 避難・消火・通報 救出・その他 | 2023・2・17 | 避難・消火・通報 救出・その他 |
| 2022・9・16 | 避難・消火・通報 救出・その他 | 2023・3・17 | 避難・消火・通報 救出・その他 |

6. 諸会議の開催

| 会議名 | 定例開催日 | 開催回数 | | 参加職種 | 参加人数 | 参考事項 |
|---------------|-------|------|----|------------------------|------|------|
| | | 定例 | 臨時 | | | |
| クラス会議 | 毎週月曜日 | 50回 | 0回 | 管理者兼児発管・心理士・作業療法士 | 3名 | |
| ケースカンファレンス | 毎週月曜日 | 50回 | | 管理者兼児発管・心理士・作業療法士 | 3名 | |
| 個別支援計画会議 | 年2回 | 2回 | | 管理者兼児発管 | 1名 | |
| 児童発達支援管理責任者会議 | 月1回 | 12回 | | 管理者兼児発管 | 1名 | |
| 職員会議 | 月1回 | 12回 | | 管理者兼児発管・心理士・作業療法士・保育士等 | 4名 | |

7. 苦情内容及び結果の公表

| 月日 | 主な苦情内容 | 対応及び解決方法 |
|----|--------|----------|
| | | |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・1年生のクラスで学校の入学による環境の変化が大きいこともありスタート当初は落ち着かない部分もあったが、子どもとの関り、会話の中で子どもの気持ちを受け止めることを中心に行ってきた。子どもたちが自分の気持ちを言葉に出して表現できるようになったり、子ども同士の衝突などがありながらも、大人が気持ちを聞いて解決できることが増えた。
- ・学習では、子どもたちの困り感に合わせて大人がついて行い、イメージが出来るように物を用意しながら学びに繋がった。学びの時間では、性教育や算数、国語の文章題など、一緒に考えて共有することが出来た。子どもたちも、楽しんで参加することが出来た。
- ・面談を行い、家族での様子や困り感の把握をショートやヘルパーなどに繋げることが出来た。

〔展望〕

- ・子ども達一人一人が自己肯定感を持ち、興味や関心を持ち挑戦へつなげることが出来るように大人が肯定的にかかわり、職員間連携していく。
- ・子どもたちがわかりやすく生活をしたり活動をしたりすることが出来るように構造化をととのえる。
- ・家族との面談などを通して困り感や家庭での様子を把握し、保護者と共に子育てが出来るように関わっていく。
- ・必要書類など書類整備を計画的に行い不備のないように、みんなでチェックし揃える。

- ・手洗い、消毒、検温などの感染対策に努める。

スタディ(放課後等デイサービス)

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 東区 | 18 | 18 | 17 | 17 | 17 | 17 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16.7 |
| 計 | 18 | 18 | 17 | 17 | 17 | 17 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16.7 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 229 | 237 | 266 | 250 | 187 | 239 | 241 | 231 | 223 | 224 | 190 | 210 | 2727 |

8. 評価と展望

[評価]

- ・1年生の子ども達の大きな環境の変化に対して、安心して過ごせるように日々構造化を工夫していった。
- ・子どもの特徴に合わせて、愛着障害の研修等、職員が参加して学びを深める事で、支援に活かす事が出来た。
- ・感染症の流行に配慮しながらも、継続的に事業を実施する事が出来た。
- ・保護者と定期的な面談や送り迎え時に、困り感や子どもの状況について話し合う事が出来た。
- ・書類整備等も、支援の上で大切なので、より明確に分担して行なう必要があったと感じる。
- ・グループマネージャーにも現場に入ってもらいサポートを行ってもらった。

[展望]

- ・発達支援については、子どもの特性を把握し、必要な支援を職員同士一致して取り組む事が出来る体制を取っていく。
- ・家族支援については、子どもの変化や、親との面談、グループカウンセリング等で困り感をキャッチし、必要な情報を関係者へ連絡、連携していく。
- ・子ども達の気持ちを大切にしながらもやるべきことを伝え、練習し年齢期らしい関わりを継続していく必要がある。

ライオン(放課後等デイサービス)

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 東区 | 29 | 28 | 32 | 20 | 21 | 20 | 21 | 22 | 23 | 23 | 19 | 20 | 23.1 |
| 北区 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 措置 | 2 | 2 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2.1 |
| 計 | 36 | 35 | 40 | 25 | 26 | 25 | 26 | 27 | 28 | 28 | 24 | 25 | 28.7 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 人数 | 247 | 210 | 270 | 263 | 218 | 244 | 266 | 233 | 231 | 236 | 206 | 237 | 2,861 |

8. 評価と展望

[評価]

- ・1年生になり、学校の行き帰りの支援、学校での支援が増えた。疲れて帰ってくる日が増えたが、フロント、学習、ミーティングの流れに沿って動くことが出来るようになった。
- ・子どもたちが自分の気持ちを言葉に出して表現できるようになったり、子ども同士の衝突があっても、大人が気持ちを聞いて解決できることが増えた。

- ・学びの時間も、性教育や算数、国語の文章題など、一緒に考えて共有することが出来た。子どもたちも、楽しんで参加することが出来た。
- ・事業所内相談支援面接を行い、お父さん、お母さんたちから困り感なども聞くことが出来たり、ヘルプに駆けつけるなどの支援を行った。
- ・こまめな換気、消毒を行い、新型コロナウイルス感染症対策を行った。
- ・学校休業日にも対応し、給食などを用意し、事業所を開所することが出来た。
- ・書類整備なども、期日内にそろえることが出来た。

〔展望〕

- ・同学年のクラスと横のつながりを大事にし、協力して療育を行っていく。
- ・構造化をしっかりと行い、子どもたちがわかりやすく活動できるように考える。
- ・事業所内相談支援面接を行ったり、こまめに連絡を取り合うなど、保護者と子どもの発達について共通理解が出来るよう努める。
- ・書類整備も日々、計画的に行って不備のないように、みんなでチェックし、揃える。
- ・手洗い、消毒、検温などの感染対策に努める。

ユスタバ（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 東区 | 12 | 12 | 12 | 12 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11.3 |
| 北区 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 7 | 7.9 |
| 中央区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 手稲区 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 措置 | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 23 | 23 | 23 | 23 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 21 | 22.5 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 232 | 250 | 269 | 243 | 213 | 241 | 256 | 211 | 222 | 228 | 230 | 223 | 2818 |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・小学1年生～3年生までのため、年齢や発達段階それぞれにあった活動への参加の仕方を意識した。
- ・活動や移動の時は大人だけでなく子ども同士でも手をつなぐことができるようにバディを習慣化させる事で大人と手を繋ぐだけでなく子ども通し手を繋いで歩ける子が増えた。
- ・時間排泄や登園時・降園時の身支度の支援で、ADLの向上に向けて毎日の練習を行った。
- ・個別でのスキル練習、予防的教育法、効果的な褒め方を意識して関わりを持つことでその子どもが持つ問題行動の改善に繋がった。
- ・個別の家庭のニーズに沿ってショートステイや居宅介護支援事業等と連携する事で子どもや家庭の困り感に対応して支援を行った。

〔展望〕

- ・個別支援計画に基づいて個々の学習面や生活スキルの獲得に向けて支援を行っていく。
- ・時間排泄や身支度・身辺整理等のQOLの獲得が出来るように関わっていく。
- ・記録や日誌等書類のチェック体制を整備して期日を守る。

ハーモニー（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 東区 | 33 | 33 | 31 | 15 | 16 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 |
| 北区 | 13 | 12 | 12 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 西区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 中央区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 手稲区 | 5 | 5 | 4 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 措置 | 3 | 4 | 4 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 計 | 56 | 56 | 53 | 27 | 28 | 27 | 27 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 280 | 273 | 325 | 245 | 237 | 249 | 262 | 246 | 247 | 237 | 239 | 237 | 3077 |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・ 小学4年生～高校2年生までの年齢幅の大きいクラスのため、それぞれの子の発達にあった活動への参加の仕方を意識した。
- ・ パディを意識し、子ども同士でも手をつなぐことができるように取り組み、大人と手をつながなくても歩ける子が増えた。
- ・ 排尿、排泄、身支度など、ADLの向上に向けて毎日の練習を行った。
- ・ スキル練習、予防的教育法、効果的な褒め方を意識して関わりを持つことで、問題行動が減った。
- ・ ショートステイと連携し、子どもや家庭の困り感に対応して支援を行った。

〔展望〕

- ・ 個別の学習の時間、学びの時間を重度の子ども向けに展開していく。
- ・ 引き続き、排尿、身支度、食事などの身の回りの自立に向けての練習と支援を行っていく。
- ・ 事業所内相談支援を行い、保護者のニーズと困り感をキャッチして支援していく。

ライラック（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 東区 | 12 | 11 | 11 | 10 | 10 | 10 | 10 | 9 | 10 | 9 | 9 | 9 | 10 |
| 北区 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1.1 |
| 措置 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 石狩市 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 計 | 16 | 16 | 14 | 13 | 15 | 13 | 13 | 12 | 13 | 12 | 12 | 12 | 13.4 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 192 | 189 | 204 | 185 | 177 | 199 | 193 | 187 | 194 | 181 | 182 | 191 | 2274 |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・ 受け入れのフロントから宿題までの流れを明確に示し、構造化を図る事で、職員で役割分担が出来、子どもたちが登園から活動まで落ち着いて過ごすことが出来るようになった。
- ・ 活動と活動の合間に、個別や小集団でスキル練習を行い、適応行動に繋がった。
- ・ 事業所内相談支援や電話連絡を通して保護者と話し合い、家族支援を行う事が出来た。

〔展望〕

- ・ 構造化を維持し、構造化が適切かどうかをクラス会議やGSVでアドバイスを受けながら見直し安心して過ごせる環境整備を行い、活動参加の意欲に繋げていく。
- ・ 登園自体に行き渋りがある子どもの家庭への支援について、関係者で情報共有し、チームで支援について検討し、

役割分担を図りながら家族支援を行っていく。

・保護者に対して、グループカウセリング、CSP への参加を促し、社会スキルが身に着くように家庭と事業所で連携を取り、共通した関わりに繋げていく。

・不登校の子ども達の支援としてアレーを利用し、利用時の様子を職員間で引継ぎ、クラスでの様子を保護者や学校支援の職員に伝えて、登校への動機づけを図り、不安な気持ちに寄り添いながら登校に繋げていく。

ルーミー（ライラック第4，5単位）（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 東区 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 |
| 北区 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 措置 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 計 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 179 | 179 | 209 | 200 | 215 | 223 | 216 | 211 | 212 | 200 | 174 | 213 | 2431 |

8. 評価と展望

〔評価〕

戸外活動をしたり、クッキング、学習発表会などの行事に積極的に参加し自分でどのようにしていきたいかを考えて行けるようになったり、学校生活で大変なときは大人に助けを求める事が出来る子どもが増えました。

〔展望〕

・構造化を維持し、構造化が適切かどうかをクラス会議や GSV でアドバイスを受けながら見直し安心して過ごせる環境整備を行い、活動参加の意欲に繋げていく。

・保護者に対して、グループカウセリング、CSP への参加を促し、社会スキルが身に着くように家庭と事業所で連携を取り、共通した関わりに繋げていく。

・仲間作りを意識した安心して自己主張出来る居場所として支援を行う。

スプリング（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 東区 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 |
| 北区 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1.3 |
| 計 | 18 | 18 | 18 | 18 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17.3 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 人数 | 234 | 239 | 266 | 239 | 216 | 235 | 225 | 227 | 205 | 193 | 187 | 214 | 2,680 |

8. 評価と展望

〔評価〕

・2年生になり、勉強も難しくなり、宿題の量も多く、疲れている様子の子が増えたが、肯定的に関わり、励ましたり、一人一人に合わせての宿題の支援も行った。フロント、学習、ミーティングの流れに沿って動くことが出来るようになった。

・子どもたちが自分の気持ちを言葉に出して表現できるようになったり、子ども同士の衝突があっても、大人が気持

ちを聞いて解決できることが増えた。又、友達の問題も自分の事として全体で考えたり、グループで考えたり、2人1組で考えたりが出来た。

- ・学びの時間も、性教育や算数、国語など、楽しく一緒に考えることを意図的に計画して行った。
- ・事業所内相談支援面接を行い、お父さん、お母さんたちから困り感なども聞くことが出来、必要な支援に繋げることが出来た。
- ・こまめな換気、消毒を行い、新型コロナウイルス感染症対策を行った。
- ・学校休業日にも対応し、給食などを用意し、事業所を開所することが出来た。
- ・書類整備なども、期日内にそろえることが出来た。

〔展望〕

- ・同学年のクラスと横のつながりを大事にし、協力して療育を行っていく。
- ・構造化をしっかりと行い、子どもたちがわかりやすく活動できるように考える。
- ・事業所内相談支援面接を行ったり、こまめに連絡を取り合うなどし、家庭の様子を把握して、必要な支援や制度の利用等を引き続き行う。
- ・書類整備も日々、計画的に行って不備のないように、みんなでチェックし、揃える。
- ・手洗い、消毒、検温などの感染対策に努める。

シンフォニー（スプリング第3・4単位）（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 東区 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10.6 |
| 北区 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | 5.3 |
| 措置 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 計 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 227 | 243 | 275 | 250 | 237 | 250 | 262 | 235 | 229 | 237 | 228 | 236 | 2906 |

8. 評価と展望

〔評価〕

・シンフォニーは2年生の新しい事業所として4月からスタートした。子どもたちも新しい事業所でとても喜んでいました。新しい環境への不安を示す子もいたが、職員が安心できる関わり、声かけを意識し取り組んでいると、早い段階で慣れて、活動に参加することが出来ていた。

・1年生から2年生へと学年もあがり、学習の難しさなども見られた。子どもたちが少しでも「自分で出来た」と思えるように、個別に対応したり、学力に合わせた学習プリントの用意、また、学びの時間も教科書を基に国語や算数などを行うなど工夫をした。

・6時間授業が週に1回あり、子どもたちが疲れて帰ってくる日が増えた。子どもたちのペースに合わせながらも、設定活動や公園遊びなどを通して、子どもたちが体を動かして、気持ちを発散させたりする機会を増やした。

・また自助グループなども行い、自分たちの気持ちを言葉で表現できる場を設定するなどをした。自分の気持ちを我慢しないで、言葉で表現できることが増えて行った。子どもたちが、お友達の手助けをしたり、お友達の気持ちを考えられることが増えた。

・毎週水曜日に性教育を行った。プライベートゾーンはどこなのか、人との距離、プライベートゾーンを触られそうになったらどうするのかなどを毎回本を読んだ後に、クイズをだして答えてもらうように楽しく行った。子どもたちも積極的に手を挙げて答えるなど、子どもたちが自分たちの体を大切に考えることが出来る機会になっている。

・事業所内相談支援面接を行い、お父さん、お母さんたちから困り感なども聞くことが出来、必要な支援に繋げることが出来た。

- ・こまめな換気、消毒を行い、新型コロナウイルス感染症対策を行った。
- ・学校休業日にも対応し、給食などを用意し、事業所を開所することが出来た。
- ・書類整備なども、期日内にそろえることが出来た。

〔展望〕

・子どもたちに合わせた関わりや活動・学習の工夫を行っていく。また、同学年のクラスと横のつながりを大事にし、協力して療育を行う。

・子どもたちが今何をやる時間なのかを明確にわかるように時間軸を意識したスケジュールや構造化をしっかりと行い、

子どもたちが自分たちで行動できるように工夫をしていく。

- ・事業所内相談支援面接を行い、こまめに連絡を取り合うなどし、家庭の様子を把握して、必要な支援や制度の利用に繋げていく。
- ・書類整備を計画的に行い、役割分担などを明確にし、不備のないように、みんなでチェックし、揃える。
- ・手洗い、消毒、検温などの感染対策に努める。
- ・発達や愛着障がいの子どもの支援についての学びを深めていく。

ヨシア（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 東区 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 |
| 北区 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 計 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 208 | 201 | 234 | 210 | 195 | 214 | 231 | 214 | 202 | 201 | 191 | 212 | 2513 |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・3年生になり、6時間授業の日も増えて疲れて帰ってくる日が増えたが、フロント、学習、ミーティングの活動の流れに沿って参加出来るようになった。
- ・子どもたちが自分の気持ちを言葉に出して表現できるようになることや、子ども同士の衝突があっても、大人が気持ちを聞いて解決できることが増えた。
- ・学びの時間も、性教育や英語、算数、国語の文章題など、一緒に考えて共有することが出来た。子どもたちも、楽しんで参加することが出来た。
- ・事業所内相談支援面接を行い、お父さん、お母さんたちから困り感なども聞くことや、ヘルプに駆けつけるなどの家族支援を行った。
- ・こまめな換気、消毒を行い、新型コロナウイルス感染症対策を行った。
- ・学校休業日にも対応し、給食などを用意し、事業所を開所することが出来た。
- ・書類整備なども、期日内にそろえることが出来た。

〔展望〕

- ・同学年だけでなく、近い学年との縦割りによる関係性も大事にし、協力して療育を行っていく。
- ・構造化をしっかり行い、子どもたちがわかりやすく活動できるように考える。
- ・事業所内相談支援面接を行ったり、こまめに連絡を取り合うなど、保護者と子どもの発達について共通理解が出来るよう努める。
- ・書類整備も日々、計画的に行って不備のないように、みんなでチェックし、揃える。
- ・手洗い、消毒、検温などの感染対策に努める。

シーランチ（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|
| 東区 | 14 | 14 | 14 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 14 | 14 | 14 | 14 | 13.58 |
| 北区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 中央区 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.75 |
| 措置 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 5 | 5 | 5 | 5 | 4.33 |
| 計 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 20 | 20 | 20 | 20 | 19 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 214 | 214 | 229 | 212 | 188 | 203 | 195 | 203 | 236 | 236 | 215 | 213 | 2558 |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・職員が活動内容を調整することで、ゾーンで分かれながら活動するお事が出来た。
- ・構造化を行い、フロントから活動までの流れを子ども達がわかりやすいように工夫することが出来た。
- ・学びの時間で、子ども達が楽しく学べるように英語を取り入れたり、週1回の性教育を行うことが出来た。
- ・予防的教育法を行うことで適応行動が増え、その行動を効果的に褒める場面が多かった。
- ・事業所内相談支援を計画的に行い、お母さんたちと面談し、子どもの成長している姿の共有や、家庭で困っていることの相談などの話し合いをすることが出来た。
- ・運営面では、期日までに書類を作成することが出来た。

〔展望〕

- ・子ども一人一人の特徴を職員で共有しながら、気持ちに寄り添って支援していくことを引き続き行っていく。
- ・同学年のクラス同士でも連携して、子どもを支えていく。
- ・家族支援では、事業所内面談を定期的に行い、保護者の困り感や育児不安に寄り添いながら、子どもの様子を共有し、協力して子どもの成長を支えていく。
- ・運営面では、書類作成を日々行い、確認を正確にこまめに行っていく。

スカイブルー（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 東区 | 13 | 13 | 13 | 22 | 22 | 22 | 27 | 27 | 27 | 27 | 28 | 28 | |
| 北区 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2.33 |
| 措置 | 2 | 2 | 2 | 4 | 6 | 6 | 7 | 7 | 7 | 7 | 8 | 7 | |
| 計 | 17 | 17 | 17 | 28 | 30 | 30 | 37 | 36 | 37 | 37 | 39 | 38 | 30.8 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 225 | 201 | 233 | 256 | 238 | 274 | 295 | 285 | 276 | 272 | 249 | 260 | 3064 |

8. 評価と展望

〔評価〕

学校の行き帰りの支援、学校での支援が増えた。疲れて帰ってくる日が増えたが、フロント、学習、ミーティングの流れに沿って動くことが出来るようになった。

- ・子どもたちが自分の気持ちを言葉に出して表現できるようになったり、子ども同士の衝突があっても、大人が気持ちを聞いて解決できることが増えた。
- ・学びの時間も、性教育や算数、国語の文章題など、一緒に考えて共有することが出来た。子どもたちも、楽しんで参加することが出来た。
- ・事業所内相談支援面接を行い、お父さん、お母さんたちから困り感なども聞くことが出来たり、ヘルプに駆けつけるなどの支援を行った。
- ・こまめな換気、消毒を行い、新型コロナウイルス感染症対策を行った。
- ・学校休業日にも対応し、給食などを用意し、事業所を開所することが出来た。
- ・書類整備なども、期日内にそろえることが出来た。

〔展望〕

- ・同学年のクラスと横のつながりを大事にし、協力して療育を行っていく。
- ・構造化をしっかり行い、子どもたちがわかりやすく活動できるように考える。
- ・事業所内相談支援面接を行ったり、こまめに連絡を取り合うなど、保護者と子どもの発達について共通理解が出来るよう努める。
- ・書類整備も日々、計画的に行って不備のないように、みんなでチェックし、揃える。
- ・手洗い、消毒、検温などの感染対策に努める。

ハイジ（スカイブルー第2・3単位）（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 東区 | 18 | 16 | 16 | 21 | 21 | 24 | 22 | 22 | 21 | 22 | 20 | 23 | 20.5 |
| 北区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0.8 |
| 措置 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0.7 |
| 計 | 20 | 18 | 18 | 23 | 22 | 26 | 24 | 24 | 23 | 23 | 20 | 24 | 22 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 人数 | 247 | 210 | 270 | 263 | 218 | 244 | 266 | 233 | 231 | 236 | 206 | 237 | 2,856 |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・受け入れのフロントから宿題までの流れを構造化し職員で役割分担、声掛けを明確にしたことで、子どもたちが落ち着いて活動出来るようになった。
- ・社会スキルの練習を活動の合間に行い、適応行動が増えた。
- ・不登校の子ども達への支援として、不登校支援、学校支援や学校への付き添いなどを行った。子ども達の気持ちに寄り添い、自尊心がさがらないようクラスでも達成感を得られるように学習、学びの時間、外活動などで配慮をした。
- ・事業所内相談支援や電話連絡を通して保護者と話し合い、支援を行う事が出来た。
- ・子どもたちが自分の気持ちを言葉に出して表現できるようになったり子ども同士の衝突があっても、大人が気持ちを聞いて解決できることが増えた。
- ・こまめな換気、消毒を行い、新型コロナウイルス感染症対策を行った。
- ・学校休業日にも対応し、給食などを用意し、事業所を開所することが出来た。
- ・書類整備なども、期日内にそろえることが出来た。

〔展望〕

- ・同学年のクラスと横のつながりを大事にし、協力して療育を行っていく。
- ・構造化の見直しと維持を行い、子どもたちにとってわかりやすく前向きに社会スキルを習得していけるようにしていく。
- ・事業所内相談支援面接を行い、こまめに連絡を取り合うなど、保護者と子どもの発達について共通理解が出来るよう努める。
- ・書類整備も日々、計画的に行って不備のないように、みんなでチェックし、揃える。
- ・手洗い、消毒、検温などの感染対策に努める。

トゥモロー（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 東区 | 10 | 10 | 10 | 18 | 18 | 18 | 18 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 16.4 |
| 北区 | 2 | 2 | 2 | 2 | 4 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2.1 |
| 西区 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.7 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 中央区 | | | | | | | | | | | | 1 | 0.08 |
| 手稲区 | | | | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 | 2.5 |
| 措置 | 2 | 2 | 2 | 2 | 4 | 4 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2.08 |
| 計 | 14 | 14 | 14 | 25 | 30 | 28 | 26 | 27 | 28 | 27 | 27 | 28 | 288 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 人数 | 236 | 249 | 275 | 299 | 262 | 287 | 262 | 240 | 253 | 239 | 197 | 234 | 3033 |

8. 評価と展望

〔評価〕

・職員が大幅に入れ替わった新年度当初は、新一年生が加わったこともあり支援が困難な状況もあった。親子発達支援をきっかけに、理事長やマネージャーの先生からのアドバイスで関わり方や構造化を見直し、クラスが随分とまとまった。

- ・制作をやる回数が少なかった。
- ・キャンプや八剣山、スキーなど、コロナで中止になっていた行事を行うことが出来た。

〔展望〕

- ・引き続き、クラスの良い雰囲気を維持していきたい。
- ・個別での面談やグループカウンセリングを引き続き積極的に行ってい、家庭での困り感を素早くキャッチして、必要なサービスや支援に繋げていく。
- ・クッキングや制作を定期的に行う。
- ・フリースクールの活動、保護者が協力し合える関係を応援していく。

野の花（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
| 東区 | 23 | 23 | 22 | 16 | 16 | 16 | 16 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 18.3 |
| 北区 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 手稲区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 措置 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 計 | 31 | 31 | 30 | 24 | 24 | 24 | 24 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 26.0 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 人数 | 247 | 249 | 274 | 249 | 230 | 250 | 248 | 229 | 239 | 237 | 197 | 209 | 2,858 |

8. 評価と展望

〔評価〕

・スペシャルニーズの子どもには個別に対応していき、家族支援会議や学校などの連携会議、上田先生の受診等を行った。

・ショートステイ等と連携して、家族への支援に繋げることができた。

・スキル練習は指示に従う、助けを求める事を中心に行った。指示に従うスキル練習は繰り返し全体と個別に行った。トークを中心に子どもたちの困り感に、やり取りしながら関わっていったことで、少しずつ関係性を構築することができていった。指示に従うことが難しい子どもも改善がみられ、話を聞く、活動に参加すること等が出来るようになっていった。また、助けを求める練習を行った事で、本人の困り感を言葉にして発信することができるようになっていった。

・クラス内でいじめが起こらないようにグループSV等、縦横での職員間で話し合い、クラスでも子どもたちに教え伝え話し合っていた。

・学校の要請があったケースでは他機関と連携会議を持ち、情報を共有できた。

・職員間で引き継ぎが上手くいくように、セットアップ、フィードバックを行っていき、部下にも行うようにクラス会議等で話し合っていた。

〔展望〕

- ・デイサービスだけの様子だけではなく、家庭内や学校での様子、また、その子達の生い立ちも把握する事で利用者を深く理解して支援を行う。また、お母さんや保護者の方とこまめに面談を行っていく。
- ・子どもたちと、関わる時間を増やし、活動や支援に意味づけを行って、大人との関係性を構築していく。子どもたちと良い関係性を作り、支援に繋げていく。
- ・一つのツールとして CSP を用いて、一貫性のある支援を行う。大人も子どもも社会スキルを身に着ける事が出来るように繰り返し練習を行う。
- ・相談室やショート、クリニック等と連携して、縦横のチームで支援する。
- ・ミッション、バリューをチームで理解して実行し、家族支援を行う。

ブラックベリー（野の花第3単位）（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|------|
| 東区 | 37 | 37 | 37 | 36 | 36 | 36 | 32 | 31 | 31 | 30 | 30 | 32 | 33.7 |
| 北区 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| 計 | 44 | 44 | 44 | 43 | 43 | 43 | 39 | 38 | 38 | 37 | 37 | 39 | 39 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 245 | 234 | 287 | 236 | 221 | 247 | 275 | 246 | 236 | 221 | 215 | 204 | 2867 |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・クラスで、基礎学習力がつくような授業を、学習が苦手な子も興味が持てるように工夫して取り組む事ができた。
- ・子ども達がお互いを信頼して話ができるように、学年ミーティングの話し合いを一年間続けることができた。
- ・CSP の予防教育をして、適応行動を効果的に褒めて、中高生に必要な社会スキルや生活スキルを身に着けるように取り組んだ。
- ・高校生は、将来の展望が描けるように、個別に気持ちを聞き、仲間同士の話し合いを大切に支援した。

〔展望〕

- ・子ども達が興味を持って基礎学習能力が身につくように授業を提供していく。
- ・学年ミーティングや集団活動を通して、仲間との連帯感を育てていく。
- ・生活スキル、社会スキルを身に着けて、自立ができるように、CSP のスキル練習やミーティングを行う。

グリーン（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|------|
| 東区 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 23 | 23 | 23 | 23 | 24 | 24 | 22.7 |
| 北区 | 5 | 5 | 5 | 5 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 6.3 |
| 他市 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3.0 |
| 措置 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 7 | 7 | 7 | 5.7 |
| 計 | 35 | 35 | 35 | 35 | 37 | 37 | 38 | 39 | 39 | 40 | 41 | 41 | 37.7 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|--|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|---|
| | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 210 | 208 | 275 | 270 | 242 | 274 | 298 | 260 | 268 | 268 | 268 | 261 | 3102 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・遺愛学園の研修から、心を大切にしたい学校があることを知り、事業所でも取り入れた。気持ちを大切にしたい、明るい、安心感のある雰囲気が出てきた。
- ・子どものグループカウンセリングでは、自分の気持ちを話す練習をし、気持ちを話すことに慣れ過ごせるようになってきた。
- ・職員に助けを求める事で、友人関係や悩みごとの解決につながる練習ができた。

〔展望〕

- ・今年度の日課をもとに、音楽活動や美術、清掃活動などを入れる。
- ・グループカウンセリングをもとに、自分の気持ちを話す練習と話す機会を作る。
- ・英語検定など目標をもった学習する。

チェリーブLOSSAM（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 東区 | 21 | 15 | 17 | 16 | 17 | 14 | 15 | 15 | 15 | 16 | 15 | 14 | 15.8 |
| 北区 | 4 | 4 | 4 | 5 | 5 | 4 | 4 | 5 | 4 | 6 | 4 | 3 | 4.3 |
| 措置 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 計 | 29 | 23 | 25 | 25 | 26 | 22 | 23 | 24 | 23 | 26 | 23 | 21 | 24.1 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 229 | 227 | 270 | 250 | 233 | 242 | 260 | 239 | 233 | 237 | 216 | 210 | 2846 |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・中、高校生の事業所として療育を行った。利用者は昨年度から引き続いてる利用者と新中1年生で新たに契約した子がいた。新しい環境に慣れるようにその都度ケースカンファレンスを行い、個別で対応するなど配慮を行った。学習の支援では一人一人に適したプリントを用意して毎日繰り返す事で達成感や自信に繋がれるように支援を行った。
- ・人間関係や人との距離間など職員が間に入り話しを聞き、良好な人間関係が築けるように練習を行った。
- ・CSPで社会スキルを身に付けられるように、フロントやミーティングや活動前にスキル練習を毎日行った。
- ・事業所内相談支援や必要に応じ家庭訪問を行い、家庭での様子やニーズを聞いて一人一人に合わせた支援を行った。

〔展望〕

- ・学校生活の中で不安や悩みを抱えた子どもの気持ちに寄り添い一人一人に丁寧に寄り、子どもや保護者が安心感を持って安心して生活出来るように支援していく。
- 事業所内相談支援やグループカウンセリングなどで保護者からの悩みやニーズを聞き、支援を行う。
- ・CSPをベースに、子どもが社会スキルを習得出来るようフロントやミーティングや活動前に繰り返し練習を行う。
- ・利用者と職員が信頼関係を築けるように気持ちに寄り添い丁寧に寄り添って支援を行う。
- ・一人一人の発達に合った学習課題を用意して達成感や自信に繋がれるように職員が

児童デイサービスジャンプレッツ（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 東区 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 15 | 15 | 15 | 14 | 14 | 14 | 14.3 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 北区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 措置 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.7 |
| 計 | 14 | 14 | 14 | 14 | 15 | 15 | 16 | 16 | 16 | 15 | 15 | 15 | 15.0 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 人数 | 237 | 248 | 273 | 249 | 236 | 249 | 259 | 248 | 252 | 236 | 231 | 258 | 2976 |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・強度行動障害がある子どもに対する支援を前年度以前からも継続的にコンサルテーションを受け、クラス職員へ伝達することで、利用している子ども達へも良い影響がみられている。
- ・食事介助、排泄介助、各活動に必要な介助を必要最低限のもので行い、子ども達本人の達成感を持てるように、常に学び、考えるようにした。
- ・クラス会議やケースカンファレンスを通して、クラス職員全員が共通理解を持つことができるような機会を持ち、クラス全体で共通の対応ができるようにした。
- ・曜日ごとのスケジュールや、設定・場の構造化を行うことで、子ども達が毎日落ち着いた生活を送れるようにした。
- ・グループカウンセリングにクラス職員が積極的に参加し、家庭の困り感やニーズを把握し、支援に繋げる事が出来た。
- ・アレルギー対応を毎日徹底し、全員で事故を防ぐように努めた。

〔展望〕

- ・クラス職員それぞれ研修などの学びの機会をつくり、スキルアップをする。
- ・排泄、食事や、日常生活に必要なスキルを子どもたちに教える機会を多く作る。
- ・グループカウンセリングや事業所内相談支援を通して、保護者とのコミュニケーションを取る

放課後等デイサービスみかほ（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|----|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|
| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
| 東区 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 北区 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 手稲区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 石狩 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 計 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|----|----|------|
| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 人数 | 94 | 94 | 106 | 101 | 112 | 110 | 98 | 97 | 91 | 107 | 93 | 91 | 1194 |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・子どもたちを効果的に褒めることを繰り返し行うことで、自信を持って取り組んだり、自己主張をすることができるようになって発語をする回数が多くなってきた。
- ・連絡帳を用いることで子どもの様子などを親と共有した。また、送迎の際にお母さんとお話することで家での様子や困り感などを共有した。
- ・子どもの様子、体の状態、リハ職の観点でやった方がいいことなどをクラス会議やケースカンファレンスなどで報告、共有して支援した。

〔展望〕

- ・CSPを基礎として、むぎのこでの療育の基本、弧の形、先頭中間最後、人数確認などを用いた支援をしていきたい。
- ・コロナで安全に配慮していきながら活動をしているが、引き続き安全のルールを意識して安心、安全を心掛けて子

どもたちの生活を保障していきたい。

- ・引き続きお母さん方のお話を聞いていき、子どもだけでなく家族支援も大切にしていきたい。
- ・引き続き学童ならではの活動を模索し、取り組んでいきたい。

IV 成人部門

ジャンプレッツ（生活介護）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 東区 | 31 | 31 | 31 | 31 | 32 | 32 | 32 | 31 | 31 | 31 | 31 | 31 | 31.3 |
| 北区 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| 西区 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 5 | 5 | 5.8 |
| 手稲区 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 清田区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 厚別区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 江別市 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 計 | 49 | 49 | 49 | 49 | 49 | 49 | 50 | 49 | 49 | 49 | 48 | 48 | 48.9 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| 月 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 計 | 884 | 873 | 1024 | 956 | 897 | 928 | 938 | 932 | 920 | 869 | 809 | 934 | 10964 |
| 前年度 | 881 | 830 | 997 | 895 | 801 | 915 | 980 | 939 | 905 | 861 | 847 | 976 | 10828 |

2. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・2022年度の個別支援計画は2021年度終了評価で利用者本人、保護者同席のもと面談。それを基に検討会議を行い、個別支援計画を策定。その後利用者、保護者同席のもと2022年度個別支援計画を説明し、同意を得る。(9月に同様に後期個別支援計画を行った。)

(2) 主な日中活動

- ・作業や活動(畑作業・洗車作業・室内清掃・施設外清掃・除雪作業・ビーズ作業・ペンキ)を5つのグループに分かれて行なった。
- ・スポーツ活動(ソフトボール・歩くスキー・卓球・スケート・ポッチャ、風船バレー等)
- ・レクリエーション(フットケア・ハンドケア等)
- ・サークル活動(英会話、フラダンス)
- ・行事(お花見・日帰りキャンプ・スポーツ大会・クリスマス会など)

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

| | |
|-----|---------------------------|
| 4月 | 英会話・フラダンス・入所式・歓迎会 |
| 5月 | 英会話・フラダンス・お花見 |
| 6月 | 英会話・フラダンス |
| 7月 | 英会話・フラダンス・海水浴 |
| 8月 | 英会話・フラダンス・日帰りキャンプ(中小屋小学校) |
| 9月 | 英会話・フラダンス |
| 10月 | 英会話・フラダンス・スポーツ大会 |
| 11月 | 英会話・フラダンス・三角山登山 |
| 12月 | 英会話・フラダンス・クリスマス会 |
| 1月 | 英会話・フラダンス・成人式 |
| 2月 | 英会話・フラダンス・豆まき |
| 3月 | 英会話・フラダンス・ひな祭り |

3. 給食業務

| | |
|--------|----------------------------|
| 給食提供形態 | 1日1食 毎日提供 食事時間 11:30~13:00 |
|--------|----------------------------|

| | |
|-----|--|
| | 食事提供に当たって、利用者の心身の状況や嗜好に合わせて食事の提供を行うとともに、年齢、障害の特性に応じた適切な栄養量及び内容の食事提供を行うため上記の栄養士を配置し、必要な栄養管理を実施。 |
| 給食費 | 650円 |

4. 医療体制

- ・嘱託医田村ドクター、平尾ドクターによる毎年1～2回の生活習慣予防検診の実施
- ・年2回の健康診断の実施（6月・10月）
- ・看護師・スタッフの連携による健康管理・指導
- ・定時薬・臨時薬の準備と保管・服用管理
- ・栄養士による食事管理

5. 施設設備管理業務

- ・エレベーター（リモート点検毎月・技術員点検4回・法定検査年1回）
- ・防災設備（法定点検年2回）

6. 防災対策

(1)防火管理者の状況

| | | | | | |
|----|-----|----|------|---------|-----------|
| 職名 | 施設長 | 氏名 | 尾北 俊 | 選任届出年月日 | 令和 4年9月1日 |
|----|-----|----|------|---------|-----------|

(2)消防計画の状況

| | | | |
|---------|------------|-----------|-------------|
| 当初届出年月日 | 2002年3月31日 | 最終変更届出年月日 | 2022年12月21日 |
|---------|------------|-----------|-------------|

(3)消防設備等の点検状況

| 区分 | 点検の箇所等 | | | |
|---------|------------|------------|-----------|-------|
| | 総合 | | 外観・機能等 | |
| 点検年月日 | 2022年9月27日 | 2023年2月21日 | 年 月 日 | 年 月 日 |
| 消防署への報告 | 有 ・ 無 | | 整備点検記録の有無 | |
| | 有 ・ 無 | | 有 ・ 無 | |

(4)所轄消防署の立入検査状況

| | |
|-----------|-------|
| 検査の有無 | 有 ・ 無 |
| 立入検査年月日 | 年 月 日 |
| 改善指示事項の有無 | 有 ・ 無 |
| 改善指示事項の内容 | |
| 上記の改善内容 | |

(5)避難場所の状況

| 第1次避難場所 | | 第2次避難場所 | |
|------------|--------|------------|--------|
| 予定地 | みずどり公園 | 予定地 | 伏古北小学校 |
| 施設からの距離 | 10M | 施設からの距離 | 200M |
| 予定地までの所要時間 | 約1分 | 予定地までの所要時間 | 10分 |

(6)非常災害に対する訓練の状況

| 実施年月日 | 実施訓練内容 | 実施年月日 | 実施訓練内容 |
|--------|-----------------|---------|-----------------|
| 4.4.22 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 4.10.21 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 4.5.20 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 4.11.18 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 4.6.17 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 4.12.16 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 4.7.22 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 5. 1.20 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 4.8.19 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 5. 2.17 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 4.9.16 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 5.3.17 | 避難・消火・通報・救出・その他 |

(7) その他の防災対策

- ・自動通報装置の設置
- ・セコムとの連携・利用者の防災センター体験による防災意識高揚
- ・AEDの設置
- ・警備日誌の励行

- ・3日分の食料、水の備蓄、災害時拠点としての防災・災害対策用品の備蓄
- ・町内会防災訓練参加
- ・災害時指定避難場所への避難（伏古北小へ（年1回））

7. 職員配置状況

(人)

| | | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|-----------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 管理者 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| サービス管理責任者 | 常 勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 生活支援員 | 常 勤 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 |
| 生活支援員 | 非常勤 | 23 | 23 | 23 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 |
| 看護師 | 常 勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 看護師 | 非常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 栄養士 | 常 勤 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 調理員 | 非常勤 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 合計 | | 44 | 44 | 44 | 45 | 45 | 45 | 45 | 45 | 45 | 47 | 46 | 46 |

8. 実習生・介護等体験の受入 ※実際に事業所で受け入れた記録を入力

| 受入学校名 | | 実習期間 | 人数 |
|-------|-----------------|------------|----|
| 実習生 | せいとく介護こども福祉専門学校 | 11/28-12/6 | 1人 |

9. 職員研修 ※実際に事業所職員が参加した研修等(研修報告のあるもの)を記入してください

(1) 法人・事業所内研修

| 日時 | 主催者 | 研修会名称 | 参加職員数 |
|-----|-----|-------|-------|
| 4/1 | | 法人研修 | 全職員 |

(2) 施設外研修・行政説明会への参加

| 日時 | 主催者 | 研修会名称 | 参加職員数 |
|------------------|-----------------|------------------|-------|
| 5/24 | 北海道知的障がい福祉協会 | 全道施設長研修会 | 1人 |
| 6/1-11/30 | 日本知的障がい福祉協会 | 知的障害を理解するための基本講座 | 2人 |
| 6/3 | 北海道安全運転管理者協会 | 安全運転管理者講座 | 1人 |
| 7/14-15 | 日本知的障がい福祉協会 | 全国知的障害関係施設長等会議 | 1人 |
| 8/29-30 | 一般社団法人日本防火・協会防災 | 甲種防火管理責任者新規講習 | 1人 |
| 3/1-2 3/15-16 | 社会福祉法人 はるにれの里 | 行動援護従事者養成研修 | 1人 |

10. 諸会議の開催※会議録必須

| 会議名 | 定例開催日 | 開催回数 | | 参加職種 | 参加人数 | 参考事項 |
|----------|-----------|------|----|-------------------|------|------|
| | | 定例 | 臨時 | | | |
| 支援員会議 | 毎月火曜日 | 24回 | | 管理者、サビ管・生活支援員・看護師 | 17名 | |
| 各種委員会 | 毎月第4水曜日 | 12回 | | 委員会担当職員 | 17名 | |
| 職員会議 | 毎月第4水曜日 | 12回 | | 管理者、サビ管・生活支援員 | | |
| 各部会議 | 毎月第2水曜日 | 12回 | | 管理者・サビ管・生活支援員 | | |
| マネージャー会議 | 毎月第2.4水曜日 | 29回 | | マネージャー | 2名 | |
| リーダー会議 | 月1回 | 12回 | | マネージャー・リーダー | 3名 | |

11. 苦情内容及び結果の公表

| 月日 | 主な苦情内容 | 対応及び解決方法 |
|----|--------|----------|
| | | |
| | | |

12. 評価と展望

〔評価〕

- ・利用者支援では、全職員がコモンセンスペアレンティングを中心に、場面で各教育法を実践ができるよう支援を心掛けた。また、CSPが共通言語になるよう、どの職員でも同じように専門的な関わりができるように利用者さんとの関係構築を率先し行った。
- ・強度行動障害、愛着障害の対応が難しいなどの対応が難しい利用者には、片倉厚子先生や米澤先生のコンサルテーションに参加し、工夫支援方法・工夫の仕方を学んだ。生活のスキルとして箸の持ち方、食べ方などが向上できるように支援した。
- ・各5グループの内、能力に合わせてグループを作り、畑作業や清掃作業、生産活動、余暇活動を行った。内職作業は新しい食品の封入作業を取り入れて行った。また、天候の良い日には戸外活動を組むことでリフレッシュすることができるよう配慮しました。
- ・内職の箱折りは全利用者が行い、工賃をもらうことができるように支援した。スープカレーやイモ餅、ハンバーグなどの封入作業を小グループで行っている。また、ポストイング作業も全利用者が行うことができるように配慮した。
- ・職員のグループSVや個別SVを行うことで、職員の良かった、難しかったことを理解し、改善点のアドバイスを示し、利用者さんへの前向きな支援を行うことができた。週に一度、支援員会議を開き、支援について各グループからの報告、相談を全員で解決ができるように話を行った。

〔展望〕

- ・各グループでの活動に対して、さらに構造化し、利用者がわかりやすく見通しをもって活動や作業に取り組むことができるような配慮が必要になる。構造化した環境を職員が整えて行っていく。
- ・内職作業をする場所の提供や、新しい作業を探して行っていく。
- ・家族支援として、来年度は家族会CSPを開催し、家族の悩みを聞くなどのコミュニケーションを図っていく。また孤立しやすい保護者との電話での連絡を定期的に行っていく。
- ・コロナ過でできなかった行事を行い、見通しを持ち、楽しみをもって通所ができるように支援していく。
- ・マスクや手洗いを全員が出来るように徹底した支援を行っていく。コロナが5類になってからは状況に応じて対応を変えていく。

ジャンプレッツ（就労移行支援事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 東区 | 17 | 17 | 17 | 17 | 15 | 14 | 12 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 14.5 |
| 計 | 17 | 17 | 17 | 17 | 15 | 14 | 12 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 14.5 |
| 前年度 | 20 | 19 | 18 | 18 | 18 | 18 | 15 | 14 | 13 | 13 | 13 | 13 | 16 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| 月 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 合計 | 182 | 160 | 195 | 179 | 160 | 160 | 164 | 164 | 167 | 169 | 163 | 177 | 2040 |
| 前年度 | 197 | 172 | 173 | 188 | 162 | 168 | 164 | 173 | 152 | 149 | 144 | 144 | 2031 |

2. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

・2021年度の個別支援計画は中間評価で利用者本人と面談。それを基に検討会議を行い、個別支援計画を策定。その後利用者や保護者に作成した個別支援計画を説明し、同意を得る。(概ね3ヶ月ごとに同様に個別支援計画の見直しを行った。)

(2) 主な日中活動

・調理室での作業：食器の準備、調理業務(食材の切り作業、味付け、炒め作業等)、食事の配達業務、食器洗浄、調理室清掃作業等、ジャンプレッツ内清掃

- ・ 麦の子発達クリニックの清掃

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

| | |
|-----|-------|
| 4月 | 入所式 |
| 5月 | |
| 6月 | |
| 7月 | |
| 8月 | |
| 9月 | |
| 10月 | |
| 11月 | 三角山登山 |
| 12月 | |
| 1月 | 成人式 |
| 2月 | |
| 3月 | |

3. 給食業務

| | |
|--------|---|
| 給食提供形態 | 1日1食 毎日提供 食事時間 11:30~13:00 食事提供に当たって、利用者の心身の状況や嗜好に合わせて食事の提供を行うとともに、年齢、障害の特性に応じた適切な栄養量及び内容の食事提供を行うため栄養士を配置し、必要な栄養管理を実施。 |
| 給食費 | 650円 |

4. 健康管理業務

(1) 医療体制

- ・ 嘱託医田村ドクター、平尾ドクターによる毎月1~2回の生活習慣予防検診の実施

(2) 健康管理

- ・ 年2回の健康診断の実施(6月・10月)
- ・ 看護師・スタッフの連携による健康管理・指導
- ・ 定時薬・臨時薬の準備と保管・服用管理
- ・ 栄養士による食事管理

5. 施設設備管理業務

- ・ エレベーター(リモート点検毎月・技術員点検4回・法定検査年1回)
- ・ 防災設備(法定点検年2回)

6. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

| | | | | | |
|----|-----|----|------|---------|-----------|
| 職名 | 施設長 | 氏名 | 尾北 俊 | 選任届出年月日 | 令和 4年9月1日 |
|----|-----|----|------|---------|-----------|

(2) 消防計画の状況

| | | | |
|---------|------------|-----------|-------------|
| 当初届出年月日 | 2002年3月31日 | 最終変更届出年月日 | 2022年12月21日 |
|---------|------------|-----------|-------------|

(3) 消防設備等の点検状況

| 区分 | 点検の箇所等 | | | |
|---------|------------|------------|-----------|-------|
| | 総合 | | 外観・機能等 | |
| 点検年月日 | 2022年9月27日 | 2023年2月21日 | 年 月 日 | 年 月 日 |
| 消防署への報告 | 有・無 | | 整備点検記録の有無 | |
| | (有)・無 | | (有)・無 | |

(4) 所轄消防署の立入検査状況

| | |
|-----------|-------|
| 検査の有無 | 有・(無) |
| 立入検査年月日 | 年 月 日 |
| 改善指示事項の有無 | 有・(無) |
| 改善指示事項の内容 | |
| 上記の改善内容 | |

(5)避難場所の状況

| 第1次避難場所 | | 第2次避難場所 | |
|------------|--------|------------|--------|
| 予定地 | みずどり公園 | 予定地 | 伏古北小学校 |
| 施設からの距離 | 10M | 施設からの距離 | 200M |
| 予定地までの所要時間 | 約1分 | 予定地までの所要時間 | 10分 |

(6)非常災害に対する訓練の状況

| 実施年月日 | 実施訓練内容 | 実施年月日 | 実施訓練内容 |
|--------|-----------------|---------|-----------------|
| 4.4.22 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 4.10.21 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 4.5.20 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 4.11.18 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 4.6.17 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 4.12.16 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 4.7.22 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 5.1.20 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 4.8.19 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 5.2.17 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 4.9.16 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 5.3.17 | 避難・消火・通報・救出・その他 |

7. 職員配置状況

(人)

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------------|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 管理者 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| サービス管理 責任者 | 常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 職業指導員 | 常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 就労支援員 | 常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 生活支援員 | 非常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 |
| 合計 | | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 |

9. 職員研修

(1) 法人・事業所内研修

| 日時 | 主催者 | 研修会名称 | 参加職員数 |
|-----|------------|-------|-------|
| 4/1 | 社会福祉法人麦の子会 | 法人研修 | 4名 |

10. 諸会議の開催

| 会議名 | 定例開催日 | 開催回数 | | 参加職種 | 参加人数 | 参考 |
|-------|---------|------|----|-------------|------|----|
| | | 定例 | 臨時 | | | |
| 支援員会議 | 毎週 火曜 | 24回 | | 管理者・サビ管・支援員 | 3名 | |
| ケース会議 | 毎月第4水曜 | 12回 | | 管理者・サビ管・支援員 | 3名 | |
| 各種委員会 | 各委員会規定日 | 12回 | | 委員会担当職員 | 3名 | |
| 職員会議 | 毎月第4水曜日 | 12回 | | 管理者・サビ管・支援員 | 3名 | |
| 各部会議 | 毎月第2水曜日 | 11回 | | 管理者・サビ管・支援員 | 3名 | |

11. 苦情内容及び結果の公表

| 月日 | 主な苦情内容 | 対応及び解決方法 |
|----|--------|----------|
| | なし | |

12. 評価と展望

2022年度は、一般就労に結び付いた利用者は3名いた。ハローワークなどに行くなど情報を提供して今後も一般就労に繋ぐことができるように支援を継続していく。利用率についても定員を割れることなく一年間進めることができた。支援については CSP をベースに教育法を用いて、利用者の達成感や充実感を高め、自己肯定感をもって過ごすことができていました。また、SST の練習であいさつなどの基礎スキルの獲得や、適切なコミュニケーションをとることができるように支援を行った。

展望として、就労につながるような支援をしていきたい。挨拶や目を見ての会話などの生活面のスキルの獲得や、コミュニケーション能力を高めることができるよう支援していきたい。

また、給食づくりや配達以外にも、内職や箱折り、ポスティングなど生活介護の利用者と一緒に作業を行い、様々なスキルを身に付け、自信につなげていきたいと感じている。

働く環境づくりも SV やグループ SV を通じて風通しの良い職場になるように常に工夫をし、安心して通所ができ

るように今後も支援を続けていく。

ハーベストガーデン（生活介護事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 東区 | 31 | 31 | 31 | 31 | 32 | 32 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 32 |
| 北区 | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 措置 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 計 | 32 | 32 | 32 | 32 | 33 | 33 | 34 | 35 | 35 | 35 | 35 | 35 | 33.5 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 716 | 686 | 788 | 753 | 680 | 729 | 780 | 761 | 774 | 747 | 717 | 802 | 8933 |

2. 職員配置状況

(人)

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----------|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 管理者 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| サービス管理責任者 | 常 勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 生活支援員 | 常 勤 | 11 | 11 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| 生活支援員 | 非常勤 | 6 | 6 | 7 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| 看護師 | 非常勤 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 栄養士 | 常 勤 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 合計 | | 23 | 23 | 23 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 |

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・2022年度の個別支援計画は2021年度終了評価で利用者本人、保護者同席のもと面談。それを基に検討会議を行い、個別支援計画を策定。その後利用者、保護者同席のもと2022年度個別支援計画を説明し、同意を得る。
(9月に同様に後期個別支援計画を行った。)

(2) 主な日中活動

- ・スポーツ（歩くスキー・ソフトボール・マラソン他）/勉強/ウォーキング/ショッピング
町内清掃/ガーデニング/畑作業/フラダンス/洗車作業/ドライブ/
ボイストレーニング/フラワーアレンジメント/三角山登山/ポスティング/箱折作業

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

| | |
|-----|---------------------------------------|
| 4月 | 入所式・歓迎会・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント |
| 5月 | 花見・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント |
| 6月 | フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント |
| 7月 | フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント |
| 8月 | フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント |
| 9月 | フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント・三角山登山 |
| 10月 | スポーツ大会・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント |
| 11月 | フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント |
| 12月 | クリスマス会・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント |
| 1月 | 成人式・歩くスキー・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント |
| 2月 | 豆まき・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント |
| 3月 | ひな祭り・山スキー・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント |

4. 施設設備管理業務

- ・防災設備（法廷点検 2 回）

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

| | | | | | |
|----|-----|----|-------|---------|------------------|
| 職名 | 管理者 | 氏名 | 古家 健司 | 選任届出年月日 | 平成 24 年 7 月 12 日 |
|----|-----|----|-------|---------|------------------|

(2)非常災害に対する訓練の状況

| 実施年月日 | 実施訓練内容 | 実施年月日 | 実施訓練内容 |
|-----------|-----------------|------------|-----------------|
| 2022・4・22 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2022・10・21 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・5・20 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2022・11・18 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・6・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2022・12・16 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・7・22 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2023・1・20 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・8・19 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2023・2・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・9・16 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2023・3・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 |

6. 諸会議の開催

| 会議名 | 定例開催日 | 開催回数 | | 参加職種 | 参加人数 | 参考事項 |
|----------|-------------|------|----|-------------------|------|----------|
| | | 定例 | 臨時 | | | |
| 支援員会議 | 毎月第 1.3 水曜日 | 24 回 | | 管理者・サビ管・生活支援員・看護師 | 11 名 | 支援員会議 |
| 各種委員会 | 毎月第 4 水曜日 | 12 回 | | 委員会担当職員 | 11 名 | 各種委員会 |
| 職員会議 | 毎月第 4 水曜日 | 12 回 | | 管理者・サビ管・生活支援員 | 11 名 | 職員会議 |
| 各部会議 | 毎月第 2 水曜日 | 12 回 | | 管理者・サビ管・生活支援員 | 11 名 | 各部会議 |
| マネージャー会議 | 随時 | 29 回 | | マネージャー | 3 名 | マネージャー会議 |

7. 苦情内容及び結果の公表

| 月日 | 主な苦情内容 | 対応及び解決方法 |
|----|--------|----------|
| | | |
| | | |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・今年度から新しく活動場所をスワンビルの 2 階を主として、前年度の活動場所を従として取り組んだ。従には働ける利用者さんを配置し、箱折や製造室での作業をメインに行っている。主では、グループに分けて活動を行っている。
- ・基本の人数確認を行うことを身につけて事故が無いように働くことを意識することが出来た。
- ・2 度のクラスターがあり、インフルエンザも流行して大変な期間を過ごした。しかし各部署とも連携を図り乗り切ることが出来た。
- ・職員間では毎日の CSP のスキル練習を行う事で、新人も肯定的に関わる事を意識することが出来たと感じる。
- ・新人職員と毎日の振り返りを行う事で、1 年間フォローする事が出来た。
- ・SV 体制をとり、良い事や難しかった事も全体で共有する事で職員同士も一致して支援を行う事ができた。
- ・利用人数が増えたことと、障害区分が大きい方が増えたことで、支援のやり方が難しいと感じる場面も増えた。

〔展望〕

- ・人数確認を確実に行うことで、安全を守っていく。
- ・構造化や、スケジュールをよりわかりやすくし、利用者さんの適正に配慮しながらも、挑戦、達成感を感じられる支援を行うとともに、CSP によるポジティブな関りを通して、利用者さん本人が自己肯定感を感じられるよう支援を進める。
- ・自己選択、自己決定を意識して、活動内に出来る事を増やしていく。
- ・職員が学びの時間を増やして、スキルアップにつなげていく。
- ・アセスメントしっかりとる技術を身に付けて、一人一人に適切な支援を行っていく。

トリニティ（生活介護事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 東区 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 |
| 北区 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 中央区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 計 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 478 | 463 | 523 | 469 | 443 | 486 | 511 | 490 | 503 | 481 | 470 | 553 | 5870 |

2. 職員配置状況

(人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|-----------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 管理者 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| サービス管理責任者 | 常 勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 生活支援員 | 常 勤 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 生活支援員 | 非常勤 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| 看護師 | 非常勤 | | | | | | | | | | | |
| 調理員 | 非常勤 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 合計 | | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 |

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・2022年度の個別支援計画は2021年度終了評価で利用者本人、保護者同席のもと面談。それを基に検討会議を行い、個別支援計画を策定。その後利用者、保護者同席のもと2022年度個別支援計画を説明し、同意を得る。(9月に同様に後期個別支援計画を行った。)

(2) 主な日中活動

- ・スポーツ（歩くスキー、ソフトボール・マラソン他）/勉強/ウォーキング/ショッピング/町内清掃/畑作業/洗車作業/清掃作業/室内トレーニング/ボッチャ/体操

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

| | |
|-----|-----------------------|
| 4月 | 入所式・歓迎会・英会話・ |
| 5月 | 花見・英会話・ |
| 6月 | 英会話・ |
| 7月 | 円山動物園・英会話・ |
| 8月 | 英会話・ |
| 9月 | 英会話 |
| 10月 | スポーツ大会・ハロウィンパーティー・英会話 |
| 11月 | 三角山登山・英会話 |
| 12月 | クリスマス会・英会話 |
| 1月 | 成人式・歩くスキー・英会話 |
| 2月 | 豆まき・英会話 |
| 3月 | ひな祭り・英会話 |

4. 施設設備管理業務

- ・防災設備（法廷点検2回）

5. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

| | | | | | |
|----|-----------|----|------|---------|----------|
| 職名 | サービス管理責任者 | 氏名 | 菊池 愛 | 選任届出年月日 | 令和1年8月1日 |
|----|-----------|----|------|---------|----------|

(2)非常災害に対する訓練の状況

| 実施年月日 | 実施訓練内容 | 実施年月日 | 実施訓練内容 |
|-----------|-----------------|------------|-----------------|
| 2022・4・22 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2022・10・21 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・5・20 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2022・11・18 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・6・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2022・12・16 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・7・22 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2023・1・20 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・8・19 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2023・2・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・9・16 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2023・3・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 |

6. 諸会議の開催

| 会議名 | 定例開催日 | 開催回数 | | 参加職種 | 参加人数 | 参考事項 |
|----------|-------------|------|----|---------------|------|------|
| | | 定例 | 臨時 | | | |
| 支援員会議 | 毎月第 1.3 水曜日 | 24 回 | | 管理者・サビ管・生活支援員 | 8 名 | |
| 各種委員会 | 毎月第 4 水曜日 | 12 回 | | 委員会担当職員 | 10 名 | |
| 職員会議 | 毎月第 4 水曜日 | 12 回 | | 管理者・サビ管・生活支援員 | 10 名 | |
| 各部会議 | 毎月第 2 水曜日 | 12 回 | | 管理者・サビ管・生活支援員 | 10 名 | |
| マネージャー会議 | 随時 | 29 回 | | マネージャー | 2 名 | |
| リーダー会議 | 月 1 回 | 12 回 | | マネージャー・リーダー | 3 名 | |

7. 苦情内容及び結果の公表

| 月日 | 主な苦情内容 | 対応及び解決方法 |
|----|--------|----------|
| | | |
| | | |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・5月にクラスターが発生し、利用者さん、職員の感染者を多く出してしまい、縮小して営業を行った。
- ・支援の基本として、CSPの効果的なほめ方で関係性を築き、問題行動に対しても適応行動の練習しほめるサイクルを職員間で徹底した。そして日々の社会スキルの練習を行い、利用者さんが適切に許可を得ることできるようになり、コミュニケーションで意思を伝えることが増えてきた。
- ・SVを毎週行うことで、良かったことや難しかったことを職員間で共有し、必要なことを考え支援に活かせるよう話し合いを行うことが出来た。また毎朝の打ち合わせで、支援の振り返りと、今日の支援の方法を話し合うことで、職員間のコミュニケーションが増えてきた。
- ・強度行動障害の対応が難しいなどの対応が難しい利用者には、片倉厚子先生コンサルテーションに参加し、工夫支援方法・工夫の仕方を学んだ。生活のスキルとして箸の持ち方、食べ方などが向上できるように支援した。

〔展望〕

- ・引き続き新型コロナウイルス感染防止を徹底し、手洗い、消毒、マスクの着用ができるよう徹底して行っていく。
- ・一人一人のアセスメントをとって、職員間で利用者さんに必要なスキルを話し合い共有して取り組んでいく。
- ・活動はマンネリ化することをなくし、常に最善の活動を模索して取り組んでいく。2022年度は利用者さんも増えるので、職員のスキルを上げるために学びに力を入れていく。

V 家庭・くらし部門

ショートステイむぎのこ（短期入所事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 東区 | 120 | 122 | 124 | 126 | 126 | 129 | 129 | 130 | 130 | 134 | 134 | 134 | 128.2 |
| 北区 | 39 | 40 | 40 | 41 | 42 | 42 | 42 | 42 | 44 | 45 | 45 | 48 | 42.5 |
| 西区 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1.75 |
| 南区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 豊平区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 中央区 | 1 | 1 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 | 2.9 |
| 手稲区 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 7.6 |
| 措置 | 12 | 13 | 13 | 13 | 13 | 14 | 14 | 14 | 15 | 16 | 16 | 16 | 14.1 |
| 計 | 182 | 186 | 189 | 194 | 195 | 200 | 200 | 201 | 205 | 211 | 211 | 214 | 199 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 206 | 229 | 256 | 268 | 236 | 243 | 245 | 214 | 224 | 236 | 210 | 230 | 2797 |

2. 職員配置状況

(人)

| | | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|-------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 管理者 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 生活支援員 | 常 勤 | 3 | 3 | 3 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 生活支援員 | 非常勤 | 20 | 20 | 23 | 24 | 23 | 24 | 23 | 24 | 27 | 27 | 27 | 27 |
| 看護師 | 非常勤 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 栄養士 | 非常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 調理員 | 常 勤 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 調理員 | 非常勤 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 合計 | | 33 | 33 | 36 | 36 | 36 | 37 | 36 | 37 | 40 | 40 | 40 | 40 |

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・短期入所計画作成
- ・安全マニュアル作成
- ・食形態の変更など、ST・栄養士から助言を受けた。
- ・必要に応じて各部署と支援会議を行い、支援の方向性を検討した。

(2) 主な日中活動

- ・起床・洗面・着替え・朝食・送迎
- ・送迎・夕食・入浴・くつろぎ・睡眠
- ・休日はむぎのこの園庭・公園での外活動や散歩、制作等

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

- ・特になし

4. 施設設備管理業務

施設設備の修理・工事

① 窓柵の修理

| | |
|---------------|---|
| 施設設備の保守点検委託業務 | 暖房設備・スプリンクラー保守点検 |
| 施設設備の管理業務 | ① 外回り清掃（随時） ② 除雪（随時） ③ 排雪（市川造園により 12～3月に 12回） |

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

| | | | | | |
|----|--|----|------|---------|------------|
| 職名 | | 氏名 | 竹内 透 | 選任届出年月日 | 2017年11月1日 |
|----|--|----|------|---------|------------|

(2)非常災害に対する訓練の状況

| 実施年月日 | 実施訓練内容 | 実施年月日 | 実施訓練内容 |
|-----------|-----------------|------------|-----------------|
| 2022・4・22 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2022・10・21 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・5・20 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2022・11・18 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・6・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2022・12・16 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・7・22 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2023・1・20 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・8・19 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2023・2・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・9・16 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2023・3・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 |

6. 諸会議の開催

| 会議名 | 定例開催日 | 開催回数 | | 参加職種 | 参加人数 | 参考事項 |
|--------------|---------|------|----|------------------|------|------|
| | | 定例 | 臨時 | | | |
| 職員会議 | 毎月第1木曜日 | 12回 | | 管理者・生活指導員 | 1名 | |
| ショートむぎ職員会議 | 月1回 | 12回 | | 管理者・生活指導員 看護師 | 4名 | |
| 感染防止委員会 | 月1回 | 12回 | 1回 | 管理者 | 1人 | |
| 建物管理・環境整備委員会 | 月1回 | 12回 | 1回 | 生活支援員 | 1人 | |

7. 苦情内容及び結果の公表

| 月日 | 主な苦情内容 | 対応及び解決方法 |
|----|--------|----------|
| | | |

8. 評価と展望

〔評価〕

- 引き続き新型コロナウイルス感染症予防のため、手洗い・手指消毒・マスク着用・健康管理及び検温等の健康観察・室内換気・室内消毒を徹底して行い、感染防止に努めた。また、一時保護中に発熱などの病児保育が必要な際も、個別対応や衛生に努めて感染拡大を防いだ。
- 思春期の対応では、関係部門と支援会議を開いて情報を共有したり、医師からの助言を得ることができて支援に活かした。
- 投薬のルールや鍵のルール、安全のルールを見直し実践することで、事故を起こさないように努めた。
- 毎日の打ち合わせで CSP の効果的な褒め方とアンガーマネージメントの練習を行い、利用者さんに肯定的に関わることや安全に過ごすことで、利用者さんの生活やリズムが安定していった。

〔展望〕

- 感染予防対策を徹底し利用者さんと職員の安全を守る。
- 看護師や栄養士、ST・OTの専門職員と連携を図り、引き続き重心のお子さんも受け入れていく。
- 幼児から思春期まで、幅広い利用者さんに対応することが求められるが、職員全員が CSP を用いて利用者さんと肯定的に関わり、逃げる練習・助けを求める練習・落ち着く練習を日々行い、安心・安全で明るい支援を行う。

ショートステイピース（短期入所事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 東区 | 237 | 239 | 242 | 243 | 243 | 245 | 246 | 247 | 249 | 252 | 252 | 252 | 246 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 北区 | 65 | 65 | 65 | 66 | 67 | 67 | 67 | 67 | 68 | 68 | 69 | 69 | 67 |
| 西区 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 南区 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 白石区 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 豊平区 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 中央区 | 6 | 6 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| 手稲区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 措置 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 |
| 計 | 341 | 343 | 347 | 348 | 348 | 350 | 351 | 352 | 354 | 357 | 357 | 357 | 350 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 人数 | 314 | 288 | 342 | 332 | 313 | 307 | 331 | 319 | 291 | 314 | 308 | 347 | 3806 |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・コロナの感染対策のため、消毒・手洗い・換気・マスクの着用・検温等徹底し、利用者さんと職員の健康管理に努めた。
- ・児童相談所からの一時保護委託や要保護家庭の緊急の依頼に対し、速やかに対応した。各機関や各部門と連携して随時支援会議を行い、安全確保と支援内容の向上に努めた。一時保護の子ども達は、ショートで落ち着きを取り戻し、里親家庭、ファミリーホーム、グループホームへと繋ぐ事が出来た。
- ・CSP やアンガーマネジメントを学習して練習する事で、肯定的に関わり、必要な時にはすぐに助けを求めて、利用者さんも職員も落ち着いて、明るく安全に過ごす事が出来た。また、職員の引継ぎ時にも必ずアンガーマネジメントの練習を行い、虐待防止に努めた。
- ・鍵のルール・薬のルール・アレルギー対応のルールを強化し、事故防止に努めた。

〔展望〕

- ・引き続き、感染予防対策を徹底して利用者さんと職員の安全を守って行く。
- ・職員全員がCSPを用いて利用者さんと肯定的に関わり、逃げる練習・助けを求める練習・落ち着く練習を日々行い、1対1の対応をしないようにして、安心・安全で明るい支援を行って行く。
- ・利用者さんも保護者の方も、利用して良かったと思って頂くように、職員が連携して常に明るく肯定的な対応に心がける。衛生・身だしなみ・環境整備に留意する。
- ・引き続き、鍵のルール、薬のルール、アレルギーのルールを徹底して、事故防止に努める。
- ・毎週GSVを行い、問題解決・支援の向上に努める。

ショートステイホームハーベスト（短期入所事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
| 東区 | 22 | 26 | 29 | 32 | 33 | 36 | 38 | 38 | 39 | 42 | 42 | 44 | 32 |
| 北区 | 3 | 3 | 4 | 6 | 7 | 7 | 7 | 7 | 8 | 8 | 8 | 10 | 6.5 |
| 西区 | | | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 1.8 |
| 白石区 | | | | | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1.1 |
| 中央区 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 0.9 |
| 手稲区 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3.8 |
| 石狩市 | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 措置 | 2 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 5 | 5 | 5 | 5 | 2.7 |
| 計 | 29 | 35 | 41 | 48 | 51 | 55 | 56 | 59 | 62 | 66 | 67 | 71 | 53.3 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 人数 | 144 | 153 | 165 | 156 | 119 | 154 | 144 | 144 | 149 | 149 | 143 | 163 | 1783 |

2. 職員配置状況

(人)

| | | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|-------|-----|----|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 管理者 | 常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 生活支援員 | 常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 13 | 1 |
| 生活支援員 | 非常勤 | 3 | 4 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 看護師 | 非常勤 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 栄養士 | 非常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 合計 | | 7 | 8 | 9 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 11 | 11 | 11 | 11 |

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・短期入所計画作成
- ・安全マニュアル作成
- ・必要に応じて各部署と支援会議を行い、支援の方向性を検討した。

(2) 主な日中活動

- ・起床・洗面・着替え・朝食・送迎
- ・送迎・夕食・入浴・くつろぎ・睡眠
- ・休日は園庭・公園での外活動・クッキング・制作等

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

- ・特になし

4. 施設設備管理業務

- ・特になし

5. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

| | | | | | |
|----|--------------|----|-------|---------|-----------|
| 職名 | ハーベストガーデン管理者 | 氏名 | 古家 健司 | 選任届出年月日 | 2023年4月1日 |
|----|--------------|----|-------|---------|-----------|

(2) 非常災害に対する訓練の状況

| 実施年月日 | 実施訓練内容 | 実施年月日 | 実施訓練内容 |
|-----------|-----------------|------------|-----------------|
| 2022・4・22 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2022・10・21 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・5・20 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2022・11・18 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・6・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2022・12・16 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・7・22 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2023・1・20 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・8・19 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2023・2・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・9・16 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2023・3・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 |

6. 諸会議の開催

| 会議名 | 定例開催日 | 開催回数 | | 参加職種 | 参加人数 | 参考事項 |
|-----------|--------|------|----|-----------|------|------|
| | | 定例 | 臨時 | | | |
| 職員会議 | 毎月第1木曜 | 12回 | | 管理者・生活支援員 | 1名 | |
| ショートステイ会議 | 月1回 | | | 管理者・生活支援員 | 4名 | |
| 安全委員会 | 月1回 | 12回 | | 管理者 | 1名 | |
| 苦情処理委員会 | 月1回 | 12回 | | 生活支援員 | 1名 | |
| 感染防止委員会 | 月1回 | 12回 | | 看護師 | 1名 | |

7. 苦情内容及び結果の公表

| 月日 | 主な苦情内容 | 対応及び解決方法 |
|----|--------|----------|
| | | |
| | | |

8. 評価と展望

〔評価〕

・コロナの感染対策のため、消毒・手洗い・換気・マスクの着用・検温等徹底し、利用者さんと職員の健康管理に努めた。

・児童相談所からの一時保護委託や要保護家庭の緊急の依頼に対し、速やかに対応した。各機関や各部門と連携して随時支援会議を行い、安全確保と支援内容の向上に努めた。一時保護の子ども達は、ショートで落ち着きを取り戻し、里親家庭、ファミリーホーム、グループホームへと繋ぐ事が出来た。

・CSP やアングーマネジメントを学習して練習する事で、肯定的に関わり、必要な時にはすぐに助けを求めて、利用者さんも職員も落ち着いて、明るく安全に過ごす事が出来た。また、職員の引継ぎ時にも必ずアングーマネジメントの練習を行い、虐待防止に努めた。

・鍵のルール・薬のルール・アレルギー対応のルールを強化し、事故防止に努めた。

〔展望〕

・引き続き、感染予防対策を徹底して利用者さんと職員の安全を守って行く。

・職員全員が CSP を用いて利用者さんと肯定的に関わり、逃げる練習・助けを求める練習・落ち着く練習を日々行い、1対1の対応をしないようにして、安心・安全で明るい支援を行って行く。

・利用者さんも保護者の方も、利用して良かったと思って頂くように、職員が連携して常に明るく肯定的な対応に心がける。衛生・身だしなみ・環境整備に留意する。

・引き続き、鍵のルール、薬のルール、アレルギーのルールを徹底して、事故防止に努める。

・毎週 GSV を行い、問題解決・支援の向上に努める。

居宅介護事業所むぎのこ

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

居宅介護

(単位 人)

| 市区町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 東区 | 132 | 138 | 134 | 130 | 134 | 124 | 125 | 122 | 118 | 117 | 120 | 122 | 126.3 |
| 北区 | 10 | 10 | 10 | 9 | 10 | 10 | 10 | 8 | 7 | 10 | 9 | 10 | 9.4 |
| 西区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0.92 |
| 中央区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 計 | 144 | 150 | 146 | 141 | 146 | 136 | 137 | 132 | 126 | 129 | 131 | 134 | 137.6 |
| 前年度 | 167 | 167 | 168 | 165 | 162 | 159 | 159 | 157 | 155 | 156 | 155 | 151 | 160.1 |

行動援護

| 市区町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|
| 東区 | 41 | 42 | 44 | 45 | 44 | 41 | 41 | 42 | 41 | 41 | 41 | 44 | 42.3 |
| 北区 | 7 | 7 | 8 | 8 | 9 | 9 | 9 | 8 | 7 | 9 | 9 | 10 | 8.3 |
| 豊平区 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.75 |
| 手稲区 | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 48 | 49 | 52 | 54 | 54 | 51 | 51 | 51 | 49 | 51 | 51 | 55 | 51.35 |
| 前年度 | 53 | 53 | 54 | 54 | 53 | 53 | 52 | 52 | 51 | 48 | 48 | 49 | 51.7 |

移動支援

| 市区町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 東区 | 79 | 79 | 79 | 80 | 80 | 75 | 76 | 71 | 71 | 71 | 68 | 71 | 75 |
| 北区 | | | | | | | | | | | | | |
| 西区 | | | | | | | | | | | | | |
| 手稲区 | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 79 | 79 | 79 | 80 | 80 | 75 | 76 | 71 | 71 | 71 | 68 | 71 | 75 |
| 前年度 | 80 | 80 | 79 | 82 | 83 | 84 | 86 | 84 | 83 | 80 | 81 | 81 | 81.9 |

(2) 利用延べ人数

居宅介護

(単位 人)

| 月 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 合計 | 451 | 489 | 552 | 502 | 455 | 539 | 539 | 508 | 493 | 446 | 420 | 526 | 5920 |
| 前年度 | 478 | 406 | 553 | 536 | 490 | 592 | 589 | 557 | 534 | 502 | 390 | 560 | 6187 |

行動援護

| 月 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 合計 | 49 | 32 | 47 | 60 | 35 | 42 | 60 | 52 | 48 | 46 | 38 | 48 | 557 |
| 前年度 | 55 | 37 | 49 | 50 | 44 | 50 | 53 | 57 | 36 | 43 | 28 | 41 | 543 |

移動支援

| 月 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 合計 | 220 | 241 | 307 | 230 | 144 | 260 | 293 | 220 | 213 | 155 | 217 | 218 | 2718 |
| 前年度 | 193 | 172 | 214 | 175 | 153 | 222 | 230 | 217 | 197 | 132 | 139 | 192 | 2236 |

2. 職員配置状況

(人)

| | | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|-----------|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 管理者 | 常勤・兼務 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| サービス提供責任者 | 常勤 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 登録ヘルパー | 非常勤 | 36 | 36 | 36 | 36 | 36 | 36 | 36 | 36 | 36 | 36 | 36 | 36 |
| 合計 | | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 |

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・アセスメントに基づきサービス等利用計画案の作成
- ・年1回作成した介護計画を保護者に説明して同意を得る。
- ・モニタリングの実施

(3) 主な日中活動

- ・アセスメント
- ・介護計画の作成
- ・モニタリングの実施
- ・居宅介護事業（食事介助・入浴介助・排泄介助・家事援助・行動援護等）
- ・移動支援事業（外出時における移動中介助・排泄・食事の介助・通学支援）
- ・養育支援員派遣事業

4. 施設設備管理業務

- ・消火器の点検

5. 諸会議の開催

| 会議名 | 定例開催日 | 開催回数 | | 参加職種 | 参加人数 | 参考事項 |
|--------------|--------|------|----|---------------|------|------|
| | | 定例 | 臨時 | | | |
| 職員会議 | 毎月第1木曜 | 12回 | | 管理者・サービス提供責任者 | 4名 | |
| 権利擁護・虐待防止委員会 | 月1回 | 12回 | | 管理者 | 1名 | |
| 感染防止委員会 | 月1回 | 12回 | | サービス提供責任者 | 1名 | |

| | | | | | |
|---------|-----|-----|-----------|----|--|
| 苦情処理委員会 | 月1回 | 12回 | 管理者 | 1名 | |
| 環境整備委員会 | 月1回 | 12回 | サービス提供責任者 | 1名 | |

6. 苦情内容及び結果の公表

| 月日 | 主な苦情内容 | 対応及び解決方法 |
|----|--------|----------|
| | なし | |

7. 評価と展望

〔評価〕

- ・通学支援、通院や家事援助などの日中の支援が増えている。
- ・キャンセルが出た場合は、ほかの利用者さん宅に訪問できるようにした。
- ・通学支援の時間や年齢に応じた同性介助ができるように、朝に稼働できる人や男性ヘルパーを確保し、スケジュール調整を行い利用者さんのニーズに答えられるようにした。
- ・状況に応じて各部署が集まって支援会議を行う事で、利用者さんの情報を共有でき、ヘルパーの支援内容の方向性が決まり支援することが出来た。
- ・ヘルパー時、マスクの着用、手指消毒、食事介助の時のグローブの使用を徹底し、感染予防に努めた。
- ・ヘルパー訪問の移動時や福祉有償運送での移動の際、安全に気をつけて移動した。

〔展望〕

- ・通学支援、家事援助、通院介助、グループホームの余暇活動、休日の余暇活動、17:00以降の身体介護など全時間・全曜日に利用者さんのニーズがある、各曜日・各時間帯に稼働できるヘルパーを確保していく。
- ・引き続きCSPを用い効果的な褒め方を用い肯定的な関わりを行っていけるように努める。

ガブリエルホーム（ファミリーホーム）・ティンカーベル（一次保護所）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数(ガブリエルホーム)

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|------|
| 措置 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 一時保護 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 前年度 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 7 | 7 | 7 | 6 | 6 | 6.25 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 180 | 186 | 180 | 186 | 186 | 180 | 186 | 180 | 186 | 186 | 168 | 186 | 2190 |

(1) 利用契約者数(ティンカーベル)

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|-----|
| 一時保護 | | 8 | 1 | 1 | 7 | 4 | 4 | 11 | 5 | 1 | 0 | 1 | 3.5 |
| 計 | | 8 | 1 | 1 | 7 | 4 | 4 | 11 | 5 | 1 | 0 | 1 | 3.5 |
| 前年度 | | | | | | | | | | | | | |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|---|---|-----|
| 人数 | | 62 | 12 | 10 | 77 | 29 | 36 | 76 | 38 | 5 | 0 | 4 | 286 |

2. 職員配置状況

(1) ガブリエルホーム

(人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|---------|----|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|
| 管理者兼養育者 | 常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 養育補助者 | 常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 養育補助者 | 非常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 |
| 合計 | | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | 5 |

(2)ティンカーベル

(人)

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----|----|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|
| | | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| 管理者 | 常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 保育士 | 常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 養育補助者 | 非常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 合計 | | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |

3. 支援業務

ガブリエルホーム

(1) 個別支援計画の策定

- ・児童自立支援計画が児童相談所より届き確認した。
- ・発達支援プランを作成した。

(2) 主な日中活動

- ・整容・朝食・出発準備・おやつ・夕食・入浴・公園遊び

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

| | |
|-----|-----------------------------|
| 4月 | カーペンターズ、お誕生会、避難訓練 |
| 5月 | お誕生会、避難訓練、小学校運動会 |
| 6月 | 避難訓練 |
| 7月 | 避難訓練、北海道ファミリーホーム研究大会(十勝川温泉) |
| 8月 | 避難訓練 |
| 9月 | 避難訓練 |
| 10月 | 学童運動会、お誕生会、避難訓練、カーペンターズ |
| 11月 | 生活発表会、避難訓練、学習発表会 |
| 12月 | もちつき、お誕生会、避難訓練、クリスマス会 |
| 1月 | お正月会、避難訓練 |
| 2月 | 豆まき、避難訓練 |
| 3月 | ひなまつり、避難訓練 |

(ティンカーベル)

(1) 主な日中活動

- ・整容・朝食・午前活動・昼食・おやつ・午後活動・夕食・入浴

4. 施設設備管理業務

(ガブリエルホーム)

- ・火災報知器、消火器の点検(法定点検年2回)
- ・室内清掃(毎日)
- ・室外清掃・草花の手入れ(都度)

(ティンカーベル)

- ・室内清掃(毎日)
- ・室外清掃・草花の手入れ(都度)

5. 防災対策

(ガブリエルホーム)

(1)防火管理者の状況

| | | | | | |
|----|--|----|--------|---------|--|
| 職名 | | 氏名 | 届出義務無し | 選任届出年月日 | |
|----|--|----|--------|---------|--|

(2)非常災害に対する訓練の状況

| 実施年月日 | 実施訓練内容 | 実施年月日 | 実施訓練内容 |
|-----------|-------------------|------------|-------------------|
| 2022・4・23 | (避難)・消火・通報・救出・その他 | 2022・10・29 | (避難)・消火・通報・救出・その他 |

| | | | |
|-----------|------------------|------------|------------------|
| 2022・5・28 | (避難)消火・通報・救出・その他 | 2022・11・26 | (避難)消火・通報・救出・その他 |
| 2022・6・25 | (避難)消火・通報・救出・その他 | 2022・12・24 | (避難)消火・通報・救出・その他 |
| 2022・7・23 | (避難)消火・通報・救出・その他 | 2023・1・28 | (避難)消火・通報・救出・その他 |
| 2022・8・27 | (避難)消火・通報・救出・その他 | 2023・2・25 | (避難)消火・通報・救出・その他 |
| 2022・9・24 | (避難)消火・通報・救出・その他 | 2023・3・25 | (避難)消火・通報・救出・その他 |

(ティンカーベル)

(1)防火管理者の状況

| | | | | | |
|----|--|----|--------|---------|--|
| 職名 | | 氏名 | 届出義務無し | 選任届出年月日 | |
|----|--|----|--------|---------|--|

(2)非常災害に対する訓練の状況

| 実施年月日 | 実施訓練内容 | 実施年月日 | 実施訓練内容 |
|-----------|------------------|------------|------------------|
| | | 2022・10・23 | (避難)消火・通報・救出・その他 |
| 2022・5・22 | (避難)消火・通報・救出・その他 | 2022・11・27 | (避難)消火・通報・救出・その他 |
| 2022・6・26 | (避難)消火・通報・救出・その他 | 2022・12・25 | (避難)消火・通報・救出・その他 |
| 2022・7・24 | (避難)消火・通報・救出・その他 | 2023・1・22 | (避難)消火・通報・救出・その他 |
| 2022・8・28 | (避難)消火・通報・救出・その他 | 2023・2・26 | (避難)消火・通報・救出・その他 |
| 2022・9・25 | (避難)消火・通報・救出・その他 | 2023・3・26 | (避難)消火・通報・救出・その他 |

6. 諸会議の開催

(ガブリエルホーム)

| 会議名 | 定例開催日 | 開催回数 | | 参加職種 | 参加人数 | 参考事項 |
|------------|-------|------|----|-----------|------|------|
| | | 定例 | 臨時 | | | |
| ファミリーホーム会議 | 毎週火曜日 | | | 管理者・養育補助者 | 8名 | |
| グループSV | 毎週水曜日 | | | 管理者・養育補助者 | 3名 | |

(ティンカーベル)

| 会議名 | 定例開催日 | 開催回数 | | 参加職種 | 参加人数 | 参考事項 |
|--------------------|-------|------|----|---------|------|------|
| | | 定例 | 臨時 | | | |
| ファミリーホーム・ティンカーベル会議 | 毎週火曜日 | | | 管理者・保育士 | 2名 | |
| グループSV | 毎週木曜日 | | | 管理者・保育士 | 2名 | |

7. 苦情内容及び結果の公表

(ガブリエルホーム)

| 月日 | 主な苦情内容 | 対応及び解決方法 |
|----|--------|----------|
| | なし | |

(ティンカーベル)

| 月日 | 主な苦情内容 | 対応及び解決方法 |
|----|--------|----------|
| | なし | |

8. 評価と展望

(ガブリエルホーム)

〔評価〕

- ・コロナ過の中での生活が続いてきて慣れてきているようで、マスク手洗い等定着してきている。又消毒や換気を徹底し感染しないように心がけている。外出も徐々に制限が緩やかになり、ファミリーホームの北海道大会を十勝川温泉で開催し全員で参加して久しぶりに全道のファミリーホームとの交流を大人も子どもも出来て喜んでた。小学校やディサービスなどと連携し子どもの状態をお互いに共有し配慮していくことが出来た。
- ・CSPの予防やスキル練習をして関わり、褒めることに重点を置いて養育した。子どもたちの意見や願いを丁寧に聞いて、気持ちを尊重し安心して生活できるようになってきている。
- ・外出の機会が増えてきて、キャンプなどは、日帰りになったりしてまだ全面的に解除になっていない状況ではあるが子どもたちも楽しむことが出来た。夏は、ビニールプールで遊んだり、ジャガイモやミニトマトの収穫を一緒にすることが出来た。冬は、除雪をしながら終わった後の達成感を得る事が出来た。

〔展望〕

- ・コロナが収まりつつある状況ではあるが、引き続きマスク着用、手洗い消毒、ホーム内消毒を徹底して行っていく。
- ・小学校、中学校、デイサービス等とも連携して子どもが安心して安全な生活を送れるように支援していく。
- ・4ホームのファミリーホーム同士の連携が増えて行き、子どもたちの希望も聞きながら協力し合って子どもたちを支援していく。

(ティンカーベル)

〔評価〕

5月より札幌市児童相談所よりコロナ感染児童専用の一時保護専用施設として開所（本来は定員6名の一時保護専用施設で稼働する予定であったが、コロナ感染者が急増のため予定変更となる）

5月の開所から、札幌市のコロナ感染者が急増するとティンカーベルの利用児童も急増することとなった。5月、8月、11月がピークの利用であった。

ティンカーベルへは、7か月の赤ちゃんから高校生までが利用（高校生は途中から療養ホテルへ行くことになる）し、利用する理由として、児童相談所の一時保護所での感染、もしくは自宅で感染したため、保護者が養育できないというのが主な理由である。

1日のスケジュールは厳しいものがあつた。感染しているため外出することができず、屋内でどのように過ごすかについては苦慮するものがあつた。幼児などは折り紙や塗り絵、学童はプリント学習など、また気晴らしなどでDVDや映画を見ることもあつた。

子どもの様子

基本的には7日間の利用

高熱で来所するが、早ければ1日で、長くても2日で熱は下がる。また全く症状のない子どももいる。初めて感染した子が多数だが、中には2回目の感染の児童も数名いた。（デルタ→オミクロン・オミクロン→オミクロン）

短期間でどれだけ安心、落ち着いて生活できるかに配慮

一時保護されての不安、そこでコロナに感染して不安、それなのに知らない場所（ティンカーベル）で過ごす生活でもっと不安。これら3つの不安がある中、どのようにしたら少しでも安心して生活ができるかに配慮した支援を行った。とにかく話を聞く、そばにいて一緒に過ごすことを徹底した。

利用期間は7日間と短い、その中でも子どもたちの成長を見届けることができる仕事である。

〔展望〕

- ・今後は、コロナも2類から5類へ変更になり通常の一時保護所となるため、コロナ時とのかかわり方とはまた一味違うかかわりとなるため、その部分に配慮しつつも、子ども達の思いを尊重できる、また誰よりも味方となれる職員の育成が必要であり、育成していかなければならない。

ベアテルホーム（ファミリーホーム）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|
| 措置 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 一時保護 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 前年度 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 180 | 186 | 180 | 186 | 186 | 180 | 186 | 180 | 186 | 186 | 168 | 186 | 2190 |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・コロナ過の中での生活に慣れてきているようで、マスク手洗い等定着してきている。又消毒や換気を徹底し、感染しないように心がけている。子どもたちが濃厚接触者になり、不安になることもあつたが、小学校や放課後等デイサービスなどと連携し子どもの状態をお互いに共有し配慮していくことが出来た。
- ・小学校、中学校とデイサービスと連携し、子どもの状態をお互いに把握したり、放課後等デイサービスでの活動で子どもたちの話を聞いてもらうことで落ち着いてきている。また学校を休みことも多かったので放課後等デイサー

ビスとの連携も多くなった。また落ち着いた子どもには実際にベテルホームに学童の先生に入ってもらい支援してきている。

- ・カウンセリングを子どもたちが受けさせてもらうことによって子どもたちの希望も聞けて、実現できたことがあった。2週間に1回の上田 Dr の受診することによってホーム、放課後等デイサービスの職員と子どもの共通認識ができる。
- ・同級生の子どもたちの関係性が悪くなってしまったことで修復しようと配慮してきたが、難しかったが、ショートステイ、放課後等デイサービスの職員にも協力してもらい子どもたちとの関係にも配慮してきた。

〔展望〕

- ・中学校、小学校、デイサービスなど進級し新しい環境になるので、子どもが安心して生活を送れるように各所と連携し、支援していく
- ・引き続き、子どもたちにカウンセリングを受けさせてもらうことによって子どもたちの希望や要望など把握していく。また引き続き C S P を勉強し、褒めることを中心に、現在の子どもたちにあった結果を工夫して考えていく。
- ・コロナについては、手洗い、手指消毒、ホームの消毒など大人だけでなく、子どもたちにも徹底するように働きかける。
- ・2022年度と同様、グレープ、ミモザが、ガブリエルホームと4ホームで連携し子どもたちを支援していく

ミモザ（ファミリーホーム）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|------|
| 措置 | 6 | 6 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 4 | 5 |
| 一時保護 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 計 | 6 | 7 | 7 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 4 | 5.9 |
| 前年度 | 6 | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6.25 |

(2) 利用延べ人数

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 180 | 217 | 210 | 155 | 155 | 150 | 155 | 150 | 155 | 155 | 155 | 120 | 2212 |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・5月～6月で妊娠 sos からの生後2か月の赤ちゃんを一時保護委託。むぎのこの看護師さんや支援職員、病院、児相と連携し、保護解除後、赤ちゃんがお母さんと家で安心して暮らすことが出来るように実母さんのサポートも行った。赤ちゃんと一緒に過ごす時間を少しづつ伸ばし、ミモザと一緒に泊まるなど。保護解除後も遊びに来てくれて繋がる事が出来ている。
- ・毎日の手洗い、消毒、検温、ファミリーホーム内の1日2階の消毒、定期的な換気の徹底。また、コロナの感染対策補助金でエアドッグや換気機能付きエアコン、消毒など購入することが出来 子どもたちがコロナに感染しないように感染対策を行った。しかし、細心の注意を払っていたが1月に子ども4名と職員2名がコロナに順番に感染した。そのため、他ホームや部署を越えて助けてもらい悪化せずにミモザの中で終息することが出来た。
- ・必要に応じて子どもたちの実父母と協力。実の兄弟をミモザに泊めて兄弟交流の機会を持ち、家族との繋がりを大切にしたい。
- ・子どもたち一人ひとりの発達特性を理解し、日々の暮らしの中で担任とも様子を共有し、連携をするようにした。

〔展望〕

- ・こどもの気持ちを大切に、実の家族との関係性を途絶えないように児相と連携していく。家族丸ごとの支援が必要な時には、里親チームとも連携し支えていく。
- ・6人の子どもたち 信頼関係を深めることやゆっくりと気持ちを聞くことが出来るように一対一の時間も持てるように補助者と協力し、工夫していく。
- ・ファミリーホーム会議や GSV を通して、日々の自分たちの関り方を見つめて、子どもたちにとって何が最善かを考えて、改善していく。子どもが、褒めてくれない、最近注意ばかりだよという主張をしてくれたら見逃さず、聞き逃さずに振り返り、子どもの声を大切にしていきたい。
- ・書類面も内部監査、内部監査チェック日をバディで確認し合い、ファミリーホーム全体の書類を的確に行っていく。一人仕事をしない！必ず確認し合う。

グレープ（ファミリーホーム）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|
| 措置 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 一時保護 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 前年度 | 4 | 6 | 6 | 6 | 8 | 6 | 7 | 8 | 8 | 6 | 6 | 6 | 6 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 180 | 186 | 180 | 186 | 186 | 180 | 186 | 180 | 186 | 186 | 168 | 186 | 2190 |

8. 評価と展望

[評価]

・コロナ禍での生活もようやく終わろうとしているが、マスク手洗い消毒や換気は引き続き行っていく。外出の機会も増えてきて、ファミリーホームの全道大会も皆で参加することが出来て子どもたちも喜んでいて。また、子どもたちの病院受診や実親さんとの交流等配慮することが出来た。小学校やデイサービスなどとも連携共有して行くことが出来た。

・CSPの予防やスキル練習を行い、褒めることに重点を置いて養育した。また、子どもたちの要望を聞いて出来るだけ実現できるように気持ちを尊重し、信頼関係を構築して安心安全な生活ができるようになってきている。

・外出の機会が増えてきて、日帰りで活動を行うなど行動範囲が広がってきている。子どもたちも夏場は、自転車や水遊びなどを楽しんでいて。冬はそり遊びや皆でホームの周りを除雪をしたりして遊びながら楽しみながら行っていた。

[展望]

・コロナの状況を見ながら、引き続きマスク着用、手洗い消毒、ホーム内消毒を行っていく。

・小学校、デイサービス等とも連携して子どもが安心安全な生活を送れるように支援していく。

・4ホームでの連携が増えて行き、子どもたちが互いのホームに遊びに行ったり交流を深めていく。

・地域での安定した暮らしができるよう、子どもたちを支援していく。

・長期的に支援を必要とする子どもたちであるため、不安の受け止め、愛着の形成、家族再統合に向けた支援を継続していく。

ホワイトハウス（グループホーム）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 東区 | 54 | 54 | 54 | 54 | 54 | 54 | 54 | 54 | 53 | 54 | 54 | 54 | 54 |
| 北区 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 西区 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 豊平区 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 清田区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 厚別区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 札幌市外 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 計 | 66 | 66 | 66 | 66 | 66 | 66 | 66 | 66 | 65 | 66 | 66 | 66 | |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|--|----|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 人数 | 1817 | 1847 | 1868 | 1900 | 1787 | 1838 | 1913 | 1858 | 1857 | 1819 | 1746 | 1913 | 22163 |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|

2. 職員配置状況

(人)

| | | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|-----------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 管理者 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| サービス管理責任者 | 常 勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 世話人 | 常 勤 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 世話人 | 非常勤 | 25 | 25 | 26 | 27 | 27 | 27 | 28 | 28 | 28 | 28 | 28 | 28 |
| 生活支援員 | 常 勤 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 17 | 17 |
| 生活支援員 | 非常勤 | 4 | 4 | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | 9 | 9 | 9 |
| 合計 | | 49 | 49 | 51 | 52 | 52 | 53 | 54 | 54 | 54 | 57 | 57 | 57 |

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・2022年度の個別支援計画は2021年度終了評価で利用者本人、保護者同席のもと面談。それを基に検討会議を行い、個別支援計画を策定。その後利用者、保護者同席のもと2022年度個別支援計画を説明し、同意を得る。(9月に同様に後期個別支援計画を行った。)

(2) 主な日中活動

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

| | |
|-----|-----------|
| 4月 | 誕生会 |
| 5月 | 誕生会 |
| 6月 | 誕生会 |
| 7月 | 誕生会 |
| 8月 | 誕生会 |
| 9月 | 誕生会 |
| 10月 | 誕生会 |
| 11月 | 誕生会 |
| 12月 | 誕生会、クリスマス |
| 1月 | 誕生会 |
| 2月 | 誕生会 |
| 3月 | 誕生会 |

4. 施設設備管理業務

- ・防災設備(法定点検年2回)

5. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

| | | | | | |
|----|---------|----|------|---------|---------|
| 職名 | 防火管理責任者 | 氏名 | 内山武人 | 選任届出年月日 | 2015年9月 |
|----|---------|----|------|---------|---------|

(2) 非常災害に対する訓練の状況

| 実施年月日 | 実施訓練内容 | 実施年月日 | 実施訓練内容 |
|-----------|-----------------|------------|-----------------|
| 2022・4・15 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2022・10・21 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・5・20 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2022・11・18 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・6・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2022・12・16 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・7・15 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2023・1・20 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・8・19 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2023・2・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・9・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2023・3・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 |

6. 諸会議の開催

| 会議名 | 定例開催日 | 開催回数 | | 参加職種 | 参加人数 | 参考事項 |
|-----|-------|------|----|------|------|------|
| | | 定例 | 臨時 | | | |
| | | | | | | |

| | | | | | | |
|--------------|---------|-----|--|----------------------|-----|--------------|
| グループホーム会議 | 毎週月曜 | 52回 | | 管理者・サビ管 世話人・生活支援員 | 19名 | 男女別で 行なった |
| グループマネージャー会議 | 毎月第三水曜日 | 20回 | | 管理者・サビ管 生活支援員 | 6 | |

7. 苦情内容及び結果の公表

| 月日 | 主な苦情内容 | 対応及び解決方法 |
|----|--------|----------|
| | 特になし | |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・2022年度もホーム利用者にコロナ陽性者が出たが、ホームの閉鎖までには至らずに対応する事が出来ていた。
- ・コロナ禍でキャンプやスポーツ観戦など、集団での屋外活動は引き続き自粛していた。
- ・職員やパートの急な欠勤や長期入院、夏季休暇など通所の休業期間の際には通所職員にも協力してもらい、ホームの配置に入ってもらった。
- ・有休消化を計画的に立てて消化する事が出来たが、夜勤者の有休取得や急な欠勤の際の配置変更は課題となった。

〔展望〕

- ・利用者支援では常に通所と連携・連絡を密に取って支援を行っていく。
- ・各ホームで消毒・換気を継続して感染予防に配慮していき、利用者さんが安全に暮らせる環境作りに努めていく。
- ・今後は様子を見て集団での屋外活動も検討していき、外で楽しめる機会を作っていく

ショートステイホームカリブ（短期入所事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 東区 | 24 | 9 | 11 | 15 | 14 | 25 | 27 | 27 | 27 | 26 | 21 | 28 | 21 |
| 北区 | 1 | | | 1 | | 1 | | | 1 | 1 | 5 | | 0.8 |
| 手稲区 | 3 | 2 | 2 | 4 | 3 | 4 | 4 | 3 | 3 | 4 | 2 | 3 | 3 |
| 厚別区 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 計 | 28 | 11 | 13 | 20 | 17 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 28 | 31 | 25 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 計 | 28 | 11 | 13 | 20 | 17 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 28 | 31 | 261 |

2. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・ジャンプレッツ・ハーベストガーデン・トリニティと連携を取り、短期入所計画を策定している

(2) 主な日中活動

- ・起床・洗面・着替え・朝食・送迎
- ・夕食・入浴・くつろぎ・睡眠

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

- ・特になし

5. 施設設備管理業務

| | |
|---------------|-------------------------|
| 施設設備の修理・工事 | 特になし |
| 施設設備の保守点検委託業務 | 防災設備（法定点検年2回） |
| 施設設備の管理業務 | ④ 外回り清掃（随時） ⑤ 除雪（随時） |

6. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

| | | | | | |
|----|---------|----|-------|---------|---------|
| 職名 | 防火管理責任者 | 氏名 | 内山 武人 | 選任届出年月日 | 2015年9月 |
|----|---------|----|-------|---------|---------|

(2) 非常災害に対する訓練の状況

| 実施年月日 | 実施訓練内容 | 実施年月日 | 実施訓練内容 |
|-----------|-----------------|------------|-----------------|
| 2022・4・15 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2022・10・21 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・5・20 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2022・11・18 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・6・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2022・12・16 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・7・15 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2023・1・20 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・8・19 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2023・2・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| 2022・9・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 | 2023・3・17 | 避難・消火・通報・救出・その他 |

(3) その他の防災対策

- ・住居内外点検

7. 職員配置状況

(人)

| | | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|-----------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 管理者 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| サービス管理責任者 | 常 勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 世話人 | 常 勤 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 世話人 | 非常勤 | 25 | 25 | 26 | 27 | 27 | 27 | 28 | 28 | 28 | 28 | 28 | 28 |
| 生活支援員 | 常 勤 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 17 | 17 |
| 生活支援員 | 非常勤 | 4 | 4 | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | 9 | 9 | 9 |
| 合計 | | 49 | 49 | 51 | 52 | 52 | 53 | 54 | 54 | 54 | 57 | 57 | 57 |

10. 諸会議の開催

| 会議名 | 定例開催日 | 開催回数 | | 参加職種 | 参加人数 | 参考事項 |
|--------------|---------|------|----|----------------------|------|-----------|
| | | 定例 | 臨時 | | | |
| グループホーム会議 | 毎週月曜 | 52回 | | 管理者・サビ管 世話人・生活支援員 | 19名 | 男女別で行っている |
| グループマネージャー会議 | 毎月第三水曜日 | 20回 | | 管理者・サビ管 生活支援員 | 6 | |

11. 苦情内容及び結果の公表

| 月日 | 主な苦情内容 | 対応及び解決方法 |
|----|--------|----------|
| | なし | なし |
| | | |

12. 評価と展望

〔評価〕

- ・5月および6月はコロナの影響でショート利用が出来なかった為稼働率が下がってしまった。
- ・利用者の自己決定や自己選択を尊重する事を第一に支援を行なっていく。
- ・関わりが難しい利用者に関してはその都度、通所と連携をとりチームで支援する事が出来た。
- ・コロナの感染対策のため、消毒・手洗い・換気・マスクの着用・検温等徹底し、利用者さんと職員の健康管理に努めた。

〔展望〕

- ・引き続き、感染予防対策を徹底して利用者さんと職員の安全を守って行く。
- ・職員全員がCSPを用いて利用者さんと肯定的に関わり、逃げる練習・助けをを求める練習・落ち着く練習を日々行い、安心・安全で明るい支援を行う。
- ・利用者さんも保護者の方も、利用して良かったと思って頂けるように、職員が連携して明るく肯定的な対応に心がける。

VI クリニック

むぎのこ発達クリニック

1. 施設利用状況

- ・1年間の受診者数 12,719人 1日平均47.6人
 (紹介状:505通 特別児童扶養手当診断書:215通
 国民年金診断書(精神障害用):61通 福祉手当診断書:21通
 自立支援意見書:17通 精神通院医療診断書:7通
 デイサービス診断書:64通 発達・知能検査レポート文書:768通
 保育園幼稚園加配診断書(保育園診断書):82通 アレルギー診断書:4通)
- ・インフルエンザ予防接種 961人 その他文書:21通
- ・定期・任意の予防接種(定期接種:242人 任意接種:28人)

2. 健康管理業務

(1) 医療体制

- ・通常の診療体制が、その月によって生じる体制変更の内容は、むぎのこ掲示板とジャンプレッツに掲示している。また、クリニックだよりのお知らせ欄には、確実に記載していく。
- ・療育中のけがにおいては、診療を最優先にして即時に対応した。
- ・特定の整形外科等とは、今後も協力いただけるよう、日頃の連携を大切にしていた。

(2) 健康管理

- ・職員の健康診断を、早期に済ませれるようスケジュールに沿って確実に受けれる手配を手早くした。
- ・秋には、法人全体の健康診断状況や結果をチェックして必要時個別に対応した。
- ・各事業所の感染対策、衛生管理等の意識付けをタイミングをみて行った。
- ・市内の感染症や法人内の罹患状況を把握して、できるだけ迅速に対応して蔓延防止に努めた。

3. 施設設備管理業務

- ・セコムに引き続き依頼して、防犯対策を行った。
- ・設備の点検・補修等は、辻野建設にすぐに対応していただいた。
- ・施設周囲の点検・整備はこまめに行い、近隣とのコミュニケーションの目的としても意識して行った。

4. 職員配置状況

(人)

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------------|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 管理者 | 常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 医師 | 非常勤 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 診察補助者 | 常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 診察補助者 | 非常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| ST/OT/心理療法者 | 常勤 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| ST/OT/心理療法者 | 非常勤 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| 事務員 | 常勤 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 事務員 | 非常勤 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 合計 | | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 |

5. ボランティアの受入

- ・特になし

6. 実習生・介護等体験の受入

むぎのこ実習生に対して、クリニックでの各種療法や親子教室の見学など、クリニックの位置づけを通して、依頼時には随時対応した。

7. 障害者自立支援法による事業の整備

むぎのこ利用児・者の他にも、福祉資源を有効に活用できるよう情報提供と、必要時診断書および意見書の作成・調整・相談を行った。

8. 人事労務・給与制度等(全事業共通)

| | |
|--------|---|
| 人事労務管理 | 異動事項特になし |
| 給与制度 | <ul style="list-style-type: none"> ・福祉職員処遇改善助成金による処遇改善の実施 ・最低賃金改定に伴い時間給を改善 ・みなし労働制を導入 |
| 職員福利厚生 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員福利厚生の充実のため、パートタイム職員も含め、福利厚生センター（ソエルクラブ）への加入を促進した。 ・全職員に対する定期健康診断を実施した。 ・腰痛検査を実施した（直接処遇職員）。 |

9. 職員研修

(1) 法人・事業所内研修

| 日時 | 主催者 | 研修会名称 | 参加職員数 |
|------------------------|------|----------------------------|-------|
| 4/1 | むぎのこ | 法人研修 | 9名 |
| 7/29～7/30 12/5～12/6 | むぎのこ | リハビリテーション職員研修ポバースコンサルテーション | 5～6名 |

| 日時 | 主催者 | 研修会名称 | 参加職員数 |
|--------------|------------|-----------------------|-------|
| 10/12～14 | 日本作業療法士協会 | 第54回日本作業療法学会 | 1名 |
| 11/5～11/6 | 日本感覚統合学会 | 第39回日本感覚統合学会研究大会 | 1名 |
| 4/23～4/24 | 日本DCD学会 | 第5回日本DCD学会学術大会 | 1名 |
| 7/9 10/19 | 北海道感覚統合研究会 | 2022年度北海道感覚統合研究会定期講習会 | 2名 |

10. 諸会議の開催

| 会議名 | 定例開催日 | 開催回数 | | 参加職種 | 参加人数 | 参考事項 |
|------|-------|------|----|----------|------|------|
| | | 定例 | 臨時 | | | |
| 全体会議 | 月1回 | 12回 | 0回 | クリニック全職員 | 7～8名 | |

11. 財務・事務管理(全事業共通)

| | |
|--------------|--|
| 情報公開 | <ul style="list-style-type: none"> ・各事業所に事業・法人の報告・計画、決算・予算等を開示した。 ・ホームページを全面更新し、情報発信を強化した。 ・後援会と連携し、日常の様子を公開に努めた。 |
| 個人情報保護と共有 | <ul style="list-style-type: none"> ・電子データを外部メディア等に複製すること等の禁止を徹底した。 ・電子データは専用サーバーに保存し、職員のみVPN接続で共有した。 |
| 苦情対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・苦情処理要綱により、各事業が迅速に対応した。 |
| 業務の効率化・コスト削減 | <ul style="list-style-type: none"> ・本部配置職員(パートを含む)を増員し、各事業の共通業務を一元管理した。 ・各事業所のパソコンを随時更新・追加し、業務の効率化を図った。 |
| 契約の公正・透明性の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用契約は担当職員によって公正に契約した。 ・経理系契約は入札を含め、経理規程を遵守した。 |
| 事務管理の適正化 | <ul style="list-style-type: none"> ・法人職員と各事業所事務担当職員との連携を図った。 |
| 第三者評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価は実施していない。 |

12. 苦情内容及び結果の公表

| 月日 | 主な苦情内容 | 対応及び解決方法 |
|----|--------|----------|
| 月 | | |

13. その他特記事項

法人内の医療事業としての意識をもって、むぎのこ年間スケジュールにより沿った連携が取れたと思う。今後は、より具体的な内容・意識を持って連携が取れればと思う。

14. 評価と展望

(1) 心理療法・査定 (アセスメント)

令和4(2022)年度心理支援業務報告 報告者 公認心理師・臨床心理士 吉村実保

令和4(2022)年度の心理士の体制は、常勤公認心理師：吉村実保、非常勤公認心理師：秋田有紀子・加藤香子・野畑隆子・福原尚子・水上真理子の5名が勤務した。

① 個人心理療法

心理療法の方法は、各セラピストの専門性により、実際の行動の改善を目的とするアプローチ（認知行動療法、遊戯療法、精神分析的トラウマ療法）、心の中の対人関係の改善やコミュニケーションの向上を目指すアプローチ（発達期の認知行動療法、遊戯療法）、支持的心理療法など様々あるが、セラピストは個々のクライアントのニーズや問題を十分考慮した上で、そのクライアントに適した支援を行った。

秋田は、5名に実施した。内容は、認知支援・SST 1名、漸次接近法2名、ASD1名、不登校・緘黙1名だった。

水上は、5名に実施した。内容は、サポートティブな面接、親子合同面接、子育て支援などだった。

吉村は、11名に実施した。内容は、感情表現の拡大、発達促進のための遊戯療法、アサーティブなコミュニケーションの向上、怒りと衝動性のコントロールなどだった。

合計 19 ケース

② 心理査定

各種（発達・知能・心理）検査は、子ども【新版K式発達検査、WISC-IV、田中ビネー知能検査、描画をはじめとした心理検査 etc】、成人【WAIS-III、田中ビネー知能検査 etc】を実施した。

a) 新版K式発達検査

秋田（4）、加藤（103）、福原（20）、吉村（166）、クリニック支援（63）

合計 356 ケース

b) 田中ビネー知能検査（V）

秋田（73）、加藤（62）、野畑（35）、吉村（173）、クリニック支援（13）

合計 356 ケース

c) ウェクスラー式知能検査（WISC-IV・WAIS-III）

秋田（12）、加藤（12）、吉村（62）、クリニック支援（4）

合計 90 ケース

d) その他発達検査（遠城寺式・乳幼児分析的発達検査など）

加藤（1）、福原（2）、吉村（4）

合計 7 ケース

e) 質問紙法による心理検査（MMPI, YG, TEG, MAS etc）

秋田（1）、吉村（3）

合計 4 ケース

f) 投映法による心理検査（HTP, PF スタディ, 風景構成法, バウム, ロールシャッハ etc）

秋田（4）、吉村（7）

合計 11 ケース

g) 神経心理学的検査（フロスティグ視知覚発達検査, ベンダーゲシュタルト検査, Rey 複雑図形検査）

秋田（7）

合計 7 ケース

h) 発達心理学的検査（グッドイナフ人物画知能検査）

秋田（8）、吉村（8）

合計 16 ケース

③ 集団精神療法

開始前にセンターと事業、保育園の担任の先生と打ち合わせをしたうえで、方法はそれぞれの集団の特徴を考慮し、SST、ロールプレイ等の認知行動療法や集団プレイセラピーを組み合わせ実施した。

今年度実施した小集団は、合計10グループだった（隔週1回40～50分）。

センターぞう組（みかほ舎）：3グループ（3人／加藤, 5人／水上, 7人／吉村）

事業シーランチ組：2グループ（6人／秋田, 6人／加藤）

事業ヨシア組：2グループ（8人／秋田，5人／水上）

保育園組：2グループ（2人／秋田，2人／水上）

水上は通院する児の親8名に愛着のパターン別の勉強会グループを実施した。

水上は通院する児7名に性教育グループを実施した。

(2)障害児・者リハビリテーション

1.言語聴覚業務報告

言語聴覚士 矢田 麻貴 結城佳生里

I. “言語聴覚士業務計画”に基づく実施報告

①言語評価

医師の指示の下、コミュニケーションに関する客観的ならびに主観的評価を実施し、親への説明、相談を行った。評価後は必要に応じて指導へと移行した。

②言語指導

R4(2022)年度末時点での言語聴覚療法対象児の総数は矢田 113名 結城 88名 201名であった。子どもの状態に応じて、40分間の個別指導を主とした言語指導、構音（発音）指導、AAC（拡大・代替コミュニケーション）指導、摂食指導を行った。定期的に、医師を交えて親への内容・経過報告、方針再検討等の機会を設けた。

※3月で終結また新規開始予定児や評価のみも含む。

④ 摂食指導

従事した対象児は0名。

2.作業療法士業務報告

作業療法士 大坪 光保 鳥越 夕妃 川合 麻里奈 松田 京

運動機能面（粗大動作・巧緻動作・協調運動など）・行動面・情緒面・認知面等に発達上の困難さがある子どもについて、医師の指示のもと評価し、1回40分～60分、週1回または2週間に1回、月1回の設定で作業療法（個別機能訓練）を実施した。また、作業療法評価のみを実施し、結果を診察時にお伝えして経過観察とする例もあった。

札幌市より、社会福祉法人麦の子会が指定管理を受けたことにより、札幌市みかほ整肢園でのリハビリテーション業務を大坪と川合が兼務した。

実習生の受け入れ：北海道大学・北海道医療大学・千歳リハビリテーション大学より計5名

大坪：93例 鳥越：4例 川合：26例 松田：83例 （計：206例）

3.理学療法士業務報告

理学療法士 高松 由梨奈 松原 鮎香

(1)運動機能面(粗大運動・協調運動など)・行動面・情緒面・認知面等に発達上の困難さがある子どもについて、医師の指示のもと評価し、1回40分～60分、週1回または2週間に1回、月1回の設定で理学療法（個別機能訓練）を実施した。2か月に一度ジャンプレッツの方が来て健康体操などの実施やトリニティへ行き理学療法(個別機能訓練)を実施した。また、理学療法評価のみを実施し、結果を診察時にお伝えして経過観察とする例もあった。

札幌市より、社会福祉法人麦の子会が指定管理を受けたことにより、札幌市みかほ整肢園でのリハビリテーション業務を高松が兼務した。

松原：18例 高松：33例 （計：51例）

(2) 親子教室

午前：週2回、午後：週3回、未就園児から市内の保育園・幼稚園に通っている未就学児までを対象とし、親子教室（クリニック母子支援事業）を、医師、公認心理師、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、看護師とともに実施した。

(3) むぎのこ児童発達支援センター、児童発達支援事業むぎのこ、成人事業所との連携

・月1回程度、落合作業療法士の来園訓練に合わせ、ジャンプレッツ利用者の方や、パンジー組の訓練対象児への関わり方を指導いただいた。また、法人内事業所利用者を中心に、幼児・学童・成人部門それぞれの通園児・利用者らの身体機能・生活技能・認知機能の獲得、維持、向上を図るため個別に関わり、直接的または間接的に発達支援を行った。

(4) クリニック他職種との連携

医師、公認心理師、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、看護師と、都度、対象者についての報告・相談を行い、毎月のクリニック全体会議の中で情報交換をし他職種とのより円滑な業務連携が図られるよう努めた。

VI 地域連携

相談室セーボネス

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 東区 | 500 | 509 | 519 | 520 | 529 | 535 | 546 | 555 | 563 | 567 | 574 | 579 | 541 |
| 北区 | 61 | 62 | 63 | 63 | 63 | 64 | 65 | 65 | 65 | 68 | 68 | 69 | 64 |
| 西区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 南区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 白石区 | 4 | 4 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 5 |
| 豊平区 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 中央区 | 3 | 3 | 4 | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 7 | 5 |
| 手稲区 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 厚別区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 清田区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 市外 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 計 | 578 | 588 | 601 | 603 | 613 | 620 | 633 | 642 | 650 | 657 | 664 | 671 | 626 |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人数 | 677 | 661 | 728 | 657 | 693 | 707 | 757 | 736 | 710 | 729 | 721 | 722 | 8498 |

2. 職員配置状況

(人)

| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|---------|----|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|
| 管理者 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 相談支援専門員 | 常勤 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 相談支援専門員 | 兼任 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 |
| 相談員 | 常勤 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 |
| 相談員 | 兼任 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 地域支援員 | 常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 地域支援員 | 兼任 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 8 |

3. 支援業務

(1) サービス等利用計画案、サービス等利用計画の策定

- ・ アセスメントに基づきサービス等利用計画案を作成。
- ・ サービス担当者会議に基づき、サービス等利用計画を作成。

(2) 主な日中活動

- ・ 基本相談支援
- ・ アセスメント
- ・ サービス等利用計画案の作成
- ・ サービス担当者会議の開催
- ・ サービス等利用計画の作成
- ・ モニタリングの実施

4. 施設設備管理業務

：

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

| | | | | | |
|----|-------------|----|-------|---------|-----------|
| 職名 | 火気取扱 責任者 | 氏名 | 田中 佳子 | 選任届出年月日 | 2022年4月1日 |
|----|-------------|----|-------|---------|-----------|

(2)非常災害に対する訓練の状況

| 実施年月日 | 実施訓練内容 | 実施年月日 | 実施訓練内容 |
|-------|-----------------|-------|-----------------|
| ・ | 避難・消火・通報・救出・その他 | ・ | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| ・ | 避難・消火・通報・救出・その他 | ・ | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| ・ | 避難・消火・通報・救出・その他 | ・ | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| ・ | 避難・消火・通報・救出・その他 | ・ | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| ・ | 避難・消火・通報・救出・その他 | ・ | 避難・消火・通報・救出・その他 |
| ・ | 避難・消火・通報・救出・その他 | ・ | 避難・消火・通報・救出・その他 |

6. 諸会議の開催

| 会議名 | 定例開催日 | 開催回数 | | 参加職種 | 参加 人数 | 参考事項 |
|-----------------------|-------|------|-----|----------|------------|------|
| | | 定例 | 臨時 | | | |
| サービス担当者会議 | 計画作成時 | | 9回 | 相談支援専門員他 | | |
| 要保護児童対策地域協議会 | 随時 | | 11回 | 相談支援専門員他 | | |
| ケース会議 | 随時 | | 92回 | 相談支援専門員他 | | |
| 自立支援協議会 (事務局会議等含む) | 毎月1回 | 51回 | | 相談支援専門員他 | 10～ 15名 | |

7. 苦情内容及び結果の公表

| 月日 | 主な苦情内容 | 対応及び解決方法 |
|----|--------|----------|
| | なし | |
| | なし | |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・障がい種別に関係なく、札幌市の障がい児・者又は家族の日常生活の相談、金銭管理、福祉サービス、就労支援、精神的支援に訪問、来所、電話、メールで応じた。各種福祉サービス申請に関わる援助をし、区役所、児童相談所、教育相談、病院、学校、法律事務所などの同行支援等を行った。計画相談として、サービス等利用計画の作成をした。
- ・札幌市自立支援協議会、札幌市自立支援協議会東区部会に参加した。障がい有無に関わらず、互いに理解し、共生できる地域を目指すことを目的に研修等を行った。関係機関との連携で、要保護家庭や保護者に障がいがある家庭、子どもに障がいがある家庭への支援を行った。
- ・地域支援員の委託を受け、保育士さん等と協力し、民生児童委員、福祉協力員の方と一緒に地域に浸透するよう活動した。民生委員からの相談ケースもでてきており、連携することができた。

〔展望〕

- ・今後も本人主体の相談を心がけ、人権を尊重した支援を行う。
- ・児童発達支援センター、児童相談所、病院、まあち、保健センター、学校等の関係機関と連携する。
- ・本人そして家族を大事にする相談室を目指す。

むぎの子ども相談室

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

| 区市町村 | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 東区 | 189 | 189 | 189 | 190 | 190 | 190 | 190 | 190 | 190 | 190 | 190 | 190 | 190 |
| 北区 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 |
| 西区 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 南区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 中央区 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|
| 手稲区 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 石狩市 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 当別町 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 計 | 266 | 266 | 266 | 267 | 267 | 267 | 267 | 267 | 267 | 267 | 267 | 267 | |

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 人数 | 8 | 26 | 22 | 19 | 24 | 32 | 26 | 31 | 17 | 13 | 15 | 34 | 267 |

2. 職員配置状況

(人)

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|-----|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|
| | 4月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| 管理者 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 相談支援専門員 | 常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 事務 | 非常勤 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 合計 | | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |

3. 支援業務

(1) サービス等利用計画案、サービス等利用計画の策定

- ・アセスメントに基づきサービス等利用計画案の作成
- ・サービス担当者会議に基づき、サービス等利用計画の作成
- ・基本相談支援
- ・アセスメント
- ・サービス担当者会議の開催
- ・モニタリングの実施

4. 施設設備管理業務

- ・火災報知器、消火器、誘導灯の点検(法定点検年2回)

5. 諸会議の開催

| 会議名 | 定例開催日 | 開催回数 | | 参加職種 | 参加人数 | 参考事項 |
|-----------|-------|------|----|----------------------|------|------|
| | | 定例 | 臨時 | | | |
| 法人職員会議 | 毎月1回 | 12回 | | 相談支援専門員 | 1名 | |
| 子ども相談室会議 | 毎月1回 | 12回 | | 相談支援専門員・事務員 | 2名 | |
| サービス担当者会議 | | | 随時 | 相談支援専門員・児童発達支援管理責任者等 | 2名以上 | |

7. 苦情内容及び結果の公表

| 月日 | 主な苦情内容 | 対応及び解決方法 |
|----|--------|----------|
| | 特になし | 特になし |

8. 評価と展望

[評価]

- ・家族のニーズに合わせて、各事業所や委託の相談室等と連携しながら、サービスの更新や変更手続き等の支援や、新規申請にもすぐに対応していった。
- ・引き続き同意をもらう計画を立て、前年度よりも本計画やモニタリングを請求に繋げられる件数が増えてきているが、月によって差がある為、新規も含めて件数を増やしていく。
- ・計画相談の手続きとして、①保護者が区役所に申請に行く、②申請後、計画相談の依頼という流れが保護者の方で理解していない場合もあるので、まずは保護者が区役所に申請の手続きを行うことを伝えながら、難しい場合は代理申請等の支援を行なった。

[展望]

- ・今後も子ども達や家族に寄り添いながら、必要な支援にすぐに繋げられるように計画相談を行い、また本計画とモニタリングの請求件数を増やしていく。
- ・地域療育等支援事業や、地域支援マネージャー、委託の相談室等とも連携しながら、地域支援や家族支援を行っていく。
- ・各機関や事業所、担当者と連携しながら、スムーズにサービスの利用に繋がったり、子どもや家族の困り感に寄り添い、支援していく。

・幼児期の児童発達支援から学齢期の放課後等デイサービスへや、児童から成人へのサービスの切り替えを切れ目なく行えるように、早めに申請等の声掛けを行って、計画を進めていく。

西尾リプロセス心理臨床研究所

1. 西尾和美先生の姉妹を囲む西尾先生への感謝の集い 2022年7月16日

参加者：20名 会場：札幌グランドホテル

妹の今井様と守田さまが、西尾先生から完成したビルを見て欲しいと託されていたことや、思い出を話され、参加者一人一人西尾先生との思い出と感謝を共有した。

2. ニシオ・キネン・ホール設立会記念会開催 2022年7月17日

参列者：今井美恵子様・守田ゆみ子様、齋藤学先生、中本テリー先生、小野善郎先生、福村出版 宮下基幸社長、外務省 吉田常孝先生、北川聡子西尾リプロセス心理臨床研究所副所長、麦の子会職員

オンライン参加：本間玲子先生、西澤奈穂子先生、佐久間綾子様、江夏亮先生

向後善之先生、田中葉子先生、マクドナ美和子先生、大濱和美西尾リプロセス心理臨床研究所所長

7月17日(日)

設立記念会内容

1. はじまりの挨拶 大濱和美西尾リプロセス心理臨床研究所所長
2. お祝いの言葉 齋藤学先生
本間玲子先生 (Zoom)
西澤奈穂子先生 (Zoom)
中本テリー先生
江夏亮先生 (Zoom)
マクドナ先生 (メッセージ)
向後善之先生 (Zoom)
ミマキケイ葉子先生 (ビデオレター)
3. ご挨拶 今井美恵子様 (西尾先生の妹様)
守田ゆみ子様 (西尾先生の妹様)

4. スライドショー (西尾先生を偲んで)

5. 終わりの挨拶 北川聡子西尾リプロセス心理臨床研究所副所長

はじめに、大濱所長からは西尾リプロセス研究所が完成したことへの感謝が述べられた。続いて、みなさまから、西尾先生は亡くなったが、西尾先生の意思を継いでキネン・ホールができたことにお祝いの言葉が寄せられた。妹様からは、「姉の遺志を継いでキネン・ホールを建てることになってるので見届けてねと言われていたので、キネン・ホールを見させていただいて嬉しく思います。姉も喜んでくれると思います。」と挨拶があった。最後に北川副所長から、西尾先生から教わった事は山のようにあり、あきらめることなく意志を継いで、日本全国、アメリカの先生に手伝っていただいて、若い人と歩んでいきたいとこれからの抱負が話された。

3. ニシオ・キネン・ホール設立記念講演会開催 2022年7月17日

『日本のトラウマ治療と西尾和美』

講師：齋藤学先生 会場：ニシオ・キネン・ホール

オンライン参加 54名 現地参加 30名

ニシオ・キネン・ホールからオンラインで配信し、西尾和美先生との出会いや、日本でトラウマを扱える専門家を育成するために、ともにCSPP設立に尽力されたことや、西尾先生の日本におけるトラウマ治療への貢献について話された。

4. リプロセスカウンセラー養成講座開催 2023年3月11日

西尾リプロセスリトリートのカウンセラー資格取得のための養成講座を開催。

参加者5名 会場：ニシオ・キネン・ホール

リプロセスカウンセラー養成講座の受講者は5名で、公認心理師、社会福祉士の2名は養成講座2回目の受講で、認定リプロセスカウンセラーを目指して引き続きトレーニング中である。

5. 研究所主催のリプロセスリトリート1Dayワークショップ開催

2023年3月12日

参加者9名 会場：ニシオ・キネン・ホール

初めてリプロセスを経験する参加者が5名いたが、経験者がサポートする形で、参加者が助け合いながら自分を振り返って癒すことができた。

6. 所員主催のワークショップ開催補助

- 1) ワーク 開催地：仙台 3回
(ア) 2022年10月14日 参加者4名 会場：ワナクリニック
(イ) 2023年2月10日 参加者3名 会場：ワナクリニック
(ウ) 2023年3月10日 参加者4名 会場：ワナクリニック
(エ)

7. トラウマとその周辺領域に関する学会及び研修会参加

- ・アルコール薬物依存関連学会（2022.9.8-9） 参加者6名
- ・日本子ども虐待防止学会第28回学術集会ふくおか大会（2022.12.9～12.11）
参加者9名
- ・第5回FLECフォーラム（2023.3.10～12） 参加者2名

8. 研修会開催

- 第3回 2022.7.17『齋藤学先生のオープンカウンセリング』の聴講
参加者30名 会場：ニシオ・キネン・ホール
- 第4回 百武正嗣先生 フェルデンクライス+ゲシュタルト・ワークショップ
(ア) 2023年2月8日 参加者10名 会場：ニシオ・キネン・ホール
(イ) 2023年2月9日 参加者12名 会場：ニシオ・キネン・ホール
(ウ)

9. ホームページの運営

ホームページでトラウマケアの必要性とリプロセストリートメントを周知する機会とし、研修やワークショップの開催を案内した。

10. 運営委員会

- 運営委員会 Zoom
2022年6月21日
2022年7月11日
2022年8月30日
次年度の事業計画・予算のオンライン承認
2023年3月28日

評価と展望

I 評価

1. 西尾先生の妹様を招いてのニシオ・キネン・ホール設立記念会
ニシオ・キネン・ホールの設立記念会を、一部オンラインでの参加で2022年7月17日に開催した。西尾和美先生の妹の今井様、守田様が出席され、ニシオ・キネン・ホールに展示してある西尾先生の遺品やカウンセリングルームを見学した。妹様方は先生の遺品を見ながら、懐かしく思い出を話され、姉も喜んでいるだろうと感想が寄せられ、有意義な時を持つことができた。
2. ワークショップの実施について
①研究所主催のワークショップは計画では3回であったが、コロナの影響もあり札幌で1回の実施にとどまった。
②所員主催のワークショップは計画では6回であったが、コロナの影響もあり仙台で3回の実施にとどまった。仙台で3回実施した半日ワークは、参加条件をゆるめたことで参加者の門戸が広がり、初めてワークを受ける方の体験版の位置づけも期待できるワークとして、今後も実施する予定である。
3. 学会参加や研修会を実施することが出来た。特に、9月に行われたアルコール薬物依存関連学会では、リプロセストリートメントのミニワークを参加者が体験し、終了後の質疑応答では多くの質問が寄せられ、関心の高さがうかがえた。

II 展望

今後の展望としては、新型コロナウイルス感染症が本年5月に5類に引き下がるため、ワークショップや養成講座、研修会を実施しやすくなると予想される。そのため、将来養成講座受講につながるような人材を育成するために、当事者がトラウマの研修やスーパービジョンを受け、支援ができるピアサポーターを育成していきたい。さらに、セラピストや当事者がトラウマとその周辺に関する施設等を視察したり、スーパービジョンを受けるなど、より専門性を高めていくことも必要と考えている。また、調査研究についても、いままでのワーク参加者の感想をまとめたり、質問紙を使ったテストの導入を行い、今後の研究の資料として保存する。

当別町子ども発達支援センター発達支援専門職員派遣業務

1. 施設利用状況

(1) 支援回数

(単位 人)

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|-----|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|---|
| 合計 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 6 |
| 前年度 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 6 |

2. 支援業務

(1) 業務

- ・当別町子ども発達支援センターにおける、発達評価および専門指導
- ・当別町子ども発達支援センターの指導業務における指導及びスーパーバイズ

(人)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 心理士 常勤 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |

3. 評価と展望

- ・当別町子ども発達支援センターに対し発達評価および専門指導を積極的に実施した。
- ・当別町子ども発達支援センターのニーズに合わせ、細かく、柔軟に専門支援を実施した。
- ・当別町子ども発達支援センター関係者（保護者、児童館職員）への講義を実施した。

妊娠SOS事業

1. 相談件数

電話、LINE、メール 24時間365日対応
開設 2022.4月から2023.3月末で 延べ相談件数 1354件
相談者実人数 550人

2. 居場所支援 Lilja（リリア） 開設 R4.3.10

- (1) Lilja（リリア）開設前にもニーズがあり法人所有施設の空き部屋を活用して
臨時的居場所支援を実施した 利用実績 9名
- (2) 主な支援内容

- ・生活支援、病院同行、心理支援、栄養指導、育児指導、妊娠期からの支援

3. コンサルテーション

一般社団法人ベアホープより月1回火曜日に1~2時間実施

4. 研修参加

| 日 | 研修名 | 開催地 | 参加者 |
|------------|---------------------------------------|------|-----|
| 2022.12.11 | 予期しない妊娠への相談対応研修 西日本情報交換会 虐待防止学会 | 福岡市 | 1人 |
| 2023.1.27 | 予期しない妊娠への相談対応研修 東日本情報交換会 | 三重県 | 2人 |
| 2023.3.9 | 居場所事業意見交換会 | ZOOM | 1人 |

5. 研修講師

| 日 | 講座名 | 対象者 | 講師 |
|------------|----------------------|----------------|------|
| 2022.11.2 | 「子どもの安全・安心ネットワーク研修会」 | 道市児相、保健師、道市職員 | 田中佳子 |
| 2022.11.18 | 「予期しない妊娠への相談対応研修」 | 道市児相、保健師、道市職員 | 田中佳子 |
| 2022.11.28 | 「要保護児童対策地域協議会研修」 | 道職員、道児相、教職員、警察 | 田中佳子 |

| | | | |
|-------------|------------|------------|------|
| 2022. 12. 7 | 思春期の性、相談体制 | 自立援助ホーム北海道 | 田中佳子 |
|-------------|------------|------------|------|

6. ホームページの運営

ホームページを引き続き開設、周知に効果的となっている。

7. 諸会議の開催

| 会議名 | 開催日 | 開催回数 | 参加職種 | 参加人数 | 参考事項 |
|--------|-------|------|---|------|----------------|
| 個別支援会議 | 4/20 | 1回 | 医師、MSW、看護師、児童相談所、妊娠SOS さっぽろ、家庭児童相談室、保健師、生活保護課 | 8人 | 退去後の生活と子育てについて |
| 個別支援会議 | 10/31 | 1回 | 札幌児童相談所、家児相、保健師、病院、妊娠SOS さっぽろ、 | 9人 | 退去後の生活と子育てについて |
| 個別支援会議 | 11/21 | 1回 | ベアホープ、保健センター、家児相、病院、にんしんSOS | 8人 | 退院後の子育てについて |

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・引き続き24時間、365日対応することができた。
- ・相談件数も令和3年度の2倍以上になり、この事業の必要性がよく分かった。
- ・居場所事業リアの利用も、空くことなく9名の利用があった。養子縁組機関ベアホープさんとも連携でき、2名の赤ちゃんが特別養子縁組となった。
- ・開設から全部で9名の新生児が誕生した。
- ・2022年12月から北海道の一部委託となったことで、周知活動がしやすくなった。

〔展望〕

- ・誰にも相談できない孤立している妊婦が相談しやすいように敷居の低い相談窓口を目指す。
- ・次の支援につながるように信頼関係を築けるように寄り添う支援を続けていく。
- ・なにより0日虐待の防止。命を守るように努めていく。
- ・望まぬ妊娠を予防する為に正しい性教育、緊急避妊薬の情報を伝えていく。
- ・潜在的な相談者に配布したリーフレット、妊娠相談カード、ステッカーが届くような仕組み、広報活動、周知を考えていきたい。